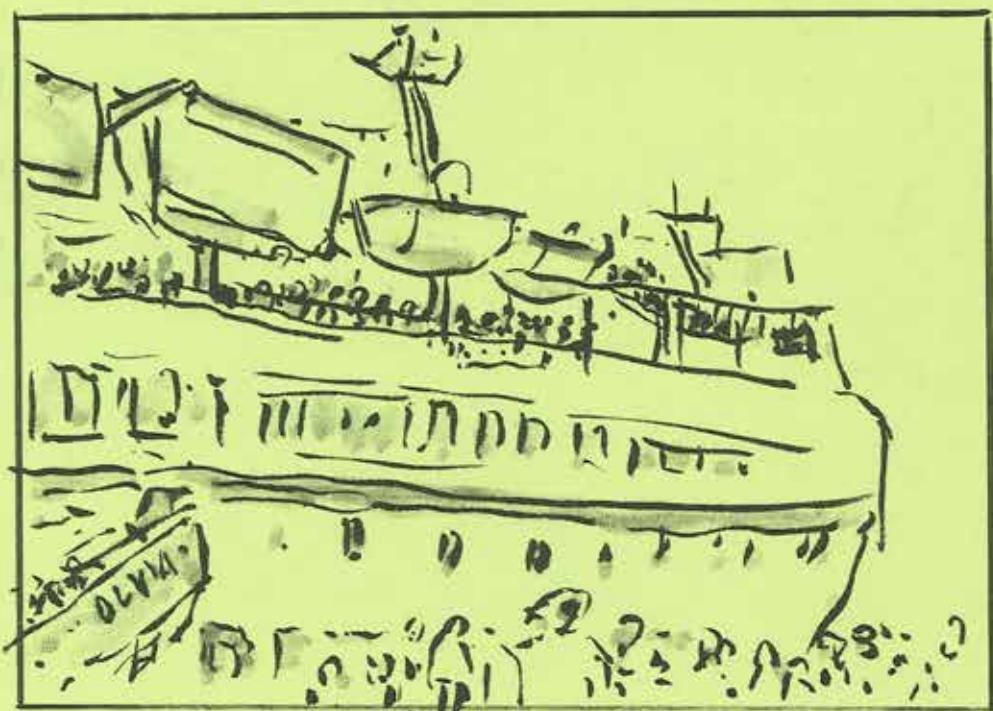


vol. 16

南国暮らしの会

特定非営利活動法人

2002年会報春季号



平成14年 4月27日



NPO法人 南国暮らしの会

*会員敬称略

目 次

・表紙 (横浜港にて)	No.38 橋本 比奈子
・目次	1頁
(定時総会資料)	
・平成14年度総会案内	2~3
・平成13年度事業報告	4~7
・平成13年度会計収支報告・貸借対照表	8~9
(第4回情報交換会講演要旨①~③)	
・①ペナン L.S.情報、宿泊施設・生活ガイド	講演者 石原 章太郎氏 10~15
・②バリ島 夫妻でロングステイ	講演者 (No.6) 石川 紹夫 16~17
・③「南極」冒険記	講演者 (No.442) 平尾 守満 18
・ペース初心者によるペース入門	No.347 奥川 勝俊 19~24
・ゴールドコースト暮らしの手引き	会友 今井 渡 25~31
・春城雲南でのL.S.について	賛助会員 田野瀬 博太郎 32~33
・チェンマイ体験記	No.94 高橋 昭 34~37
・ロングステイ イン バンコク	No.189 五十嵐 輝雄 38~41
・2度目の避暑と避寒をフィリピンで体験	No.98 加藤 泰三・靖子 42
・トルコの旅	No.280 小川 譲雄 43~47
・マルタ島エンジョイスタート第1号	No.128 稲延 豔 48~50
・ラオス便り	No.329 中西 優子 51~53
・マレーシアのリタイアメントビザ変更について	No.302 末 英樹 54~55
・マクトンの土地開発…アイデア募集	No.291 福田 修 56~57
・伝言・掲示板	58
・支部・部会伝達板	59~61
・広告 (比・クラーク・フォンタナリゾート)	賛助会員 田野瀬 博太郎 62

平成14年度南国暮らしの会総会 及び情報交換会、懇親会のご案内

理事長 池田 徳三郎

薰風の候、皆様方におかれましては益々ご健勝のことと存じます。さて恒例の年次総会を下記の要領にて開催致しますのでご出席頂きますようご案内申し上げます。
出席出来ない方は必ず添付の別紙委任状をご提出願います。

記

1. 日時：(1) 総会 : 平成14年6月1日（土）午前10時半～11時半
:(2) 情報交換会 : 同日午後1時20分～5時半
:(3) 懇親会 : 同日午後6時20分～8時半
2. 場所 : 東京都大崎労政事務所・南部労政会館 (JR 大崎駅徒歩5分) *案内図参照
東京都品川区大崎1丁目11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー2階
電話 : 03-3495-4915
緊急連絡先 : 事務局 宮崎迄 携帯 : 090-2907-8340
3. (1) 総会 : 議題・平成13年度事業総括及び決算報告
 - ・会計監査報告
 - ・平成14年度事業計画及び予算
 - ・理事改選
 - ・その他(2) 情報交換会 : ①「心臓病：いざという時のため」
 - ・日本医科大学内科学助教授 清野 精彦先生②「中国を旅して」
 - ・ルポライター、南の会会員 No. 33 戸田 智弘 様③「素晴らしいバース・ロングステイ」
 - ・南の会会員 No. 315 鈴木 剛 様(3) 懇親会はゲートシティB1「フェスタガーデン」(TEL 03-3491-0816)
にて行います。飲み放題、食べ放題です。
4. 会費 : 情報交換会 : ¥500、 懇親会 : 男性¥3,000、女性¥2,500
5. 情報交換会について
今回清野先生にこのテーマについて講演して頂く趣旨を厚生担当藤本理事が会報の各支部・部会伝達板に説明しておりますので是非お読みください。
これに関連し、東京消防庁救急隊による「心肺蘇生術」の実技指導を併せて行いますのでご期待ください。
以上の方々のお話を予定しておりますが、都合により変更があるかも知れませんので予めご承知おきください。
6. 昨年と同様、議案の一部を本会報に掲載し、その内容を会員の皆様に事前に検討して頂き、掲載事項の詳細説明は省き、質疑応答から開始し効率よく議事進行をはかります

ので皆様のご協力をお願いいたします。

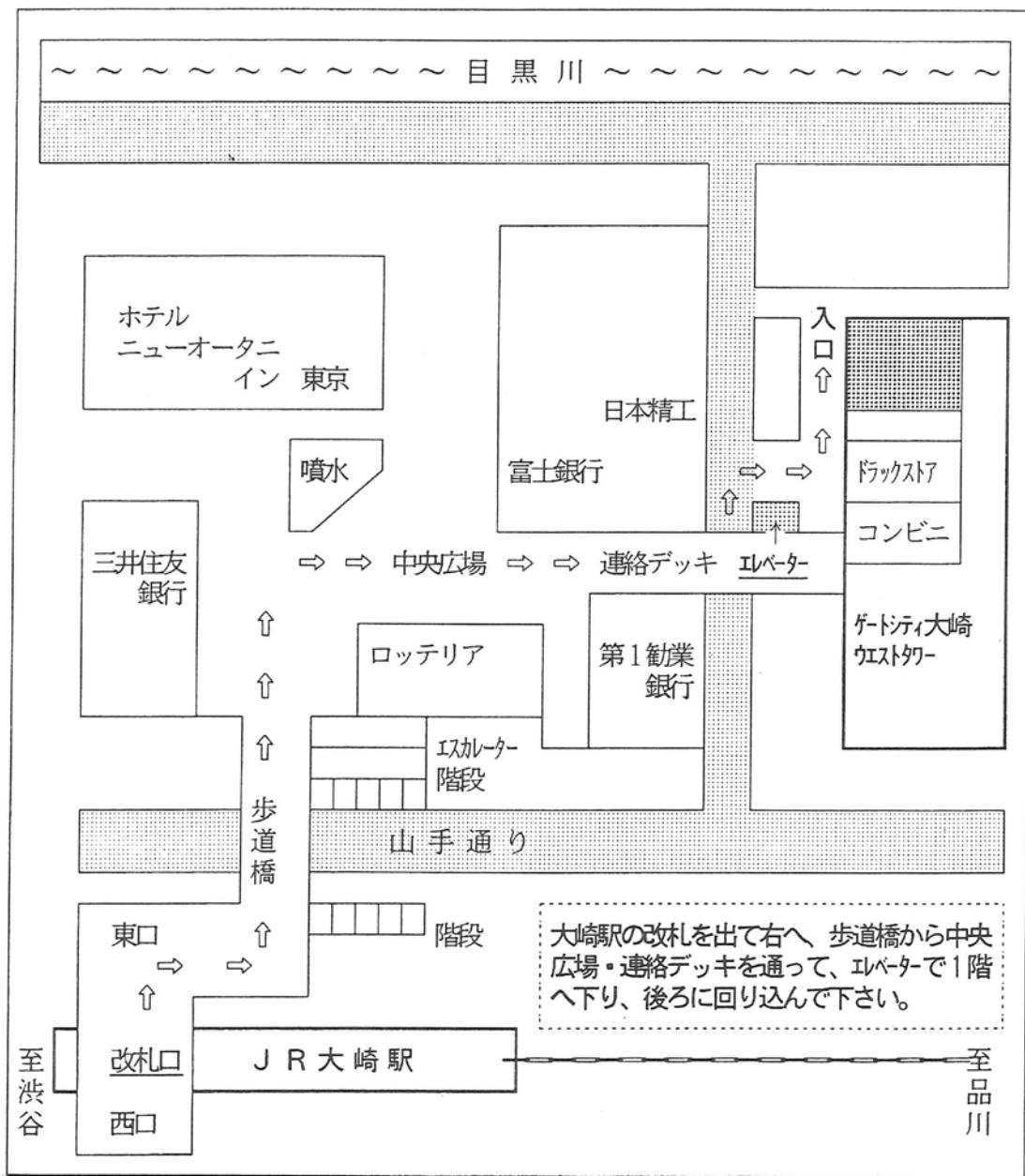
従って当日は、本会報を必ずご持参ください。

以上

南部労政会館・案内図

◇東京都大崎労政事務所・南部労政会館◇

品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎・ウェストタワー2F
TEL141-0032 FAX03-3495-4915



平成13年度事業報告書

(平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)

特定非営利活動法人 南国暮らしの会

理事長 池田 徳三郎

1. 事業の成果

1) 法人の組織活動の充実

理事の定数を7人から15人以内に増加し、更に副理事長を1人から2人に増員し、新しく業務を分担することが出来ました。担当理事は担当事項の諸案を理事会に提案して、理事会において審議し、決定事項を協力して実施することにより、組織の諸活動がより強化されることになりました。

2) 経営基盤の確立

非営利活動法人として、新規の事業は実現できない現状であります。しかし、会員の皆様のご協力により、総会において会費等の値上げのご承諾を得、新年度より実施の運びとなりました。お蔭をもちまして、財務基盤の充実が見込まれ、法人の組織活動をより具体化することが出来る予定となりました。

3) 法人の組織活動の透明化

法人の組織的活動は、会費と会員相互のボランティアにより支えられておりますが、組織活動がガラス張りで透明でなければなりません。その一環として、「規定集編集委員会」は理事会で決定した細則などを整理、編集し、その他必要情報を追加して「南の会必携」として纏めて配布しました。今後追加情報を随時配布して、「南の会必携」を増強してゆく予定であります。

4) 海外との交流

前回のマレーシア・ツアーに続いて、13年度はタイ・ツアーを企画し、実施しました。そして、タイ国日本人会（バンコク）との交流、チェンマイの日本人との交流により、相互に会報その他の情報交換をすることが出来ました。そのほか、日本人対象の医療施設（私立病院）、タイ厚生省でのお話等を会報、雑誌、新聞等に紹介することもできました。

5) 厚生活動（海外の医療・介護等）の整備

会の重要な厚生活動を充実するため、厚生担当を業務分担に追加（従来調査担当が兼務）し、海外の医療・介護の情報収集に勤めることとなりました。

6) 関東支部の新設

支部の組織的活動を活性化する一方法として、関東支部を新設しました。研修会・海外情報の交換会・海外帰国人者歓迎報告会・サロン「南の会」開設等をホームページ、Eメールで連絡するほか、できる限り会報に掲載して、会員相互の連絡をより密にすることが出来、併せて会合の機会を多くすることが出来ました。

7) 会報の充実

新会報担当理事・会報編集委員会の活発な活動と、国内外の会員の皆様のご協力で今年度も実り多い4回の会報を発行することが出来ました。

8) インターネットシステムの活発な利用

担当理事・インターネット委員会の活躍と会員相互のご協力により、事務局からの連絡、会員相互の情報交換もスムーズになりました。会報・ホームページは「会の顔」であり、その成果を上げることが出来ました。

2. 事業の実施に関する事項

1) 会報の作成／発行

春季号 (Vol.12) (45 頁) ; 夏季号 (Vol.13) (49 頁)

秋季号 (Vol.14) (53 頁) ; 新年号 (Vol.15) (51 頁)

2) 報告書等の作成／発行

「南の会必携保存版」(秋季号と共に配布)。なお新年号添付として「南の会必携保存版」の増強頁(定款、細則及び内規)を配布。

3) 内外通信関係

*ホームページ (<http://village.infoweb.ne.jp>)

昨年度広報担当理事が、会の活動及び情報開示を目的として立ち上げた「南国暮らしの会ホームページ」からは、当会の海外会員のホームページへのリンクや本会報の要約へのアクセスも出来るようになっています。

*マーリングリスト [nangoku]

昨年2月に始めたEメールのマーリングリストによる交信が、海外会員も含めてますます活発となり、現在百名以上の会員が登録して利用している。

*パソコン講習会

昨年度に引き続き今年度も、広報担当理事主導で3月までに計4回実施し、毎回約10名の会員が研修を受けています。

4) 支部活動関係

① 関東支部会

*情報交換会

第1回情報交換会 (13-6-16) 講演対象国：タイ、ハワイ、マレーシア、フィリピン (54名参加)

第2回情報交換会 (13-8-24) 講演対象国：チェンマイ、タイ、(45名参加)

第3回情報交換会 (13-10-6) 講演対象国：ペナン、オーストラリア、コスタリカ (57名参加)

第4回情報交換会 (14-1-9) 講演対象国：ペナン、バリ、南極、(70名参加)

*ミニ情報交換会

今年度マーリングリストで呼びかけたミニ情報交換会は合計12回に及び、参加者は10名前後から多いときは20名となりました。

*サロン「南の会」

平成13年11月より毎月第2土曜日、新高輪プリンスホテルにて開催。参加者が次第に増え、平成14年3月のサロン「南の会」には32名の会員が参加しました。

② 関西支部会

第1回会合及び情報交換会(13-5-27) 30名参加

第2回会合及び情報交換会(13-10-28) 31名参加

第3回会合及び情報交換会(14-3-10) 23名参加

③ 九州支部会

13年度は会員4名でハワイ旅行を実施、14年度はフィリピンおよびペナン（または チェンマイ）旅行を検討中。

(注) 関西および九州支部会記載内容の詳細は本号、「支部・部会掲示板」参照

5) 生活環境等の調査関係

*不動産情報

従来会員の皆様から要望の多い不動産情報として、理事会で審査済みの不動産広告を掲載してきましたが、どうしても十分な調査が出来ないため新規の不動産広告は今後取りやめることと致しました。

*タイ国視察ツアー（14名）

平成13年6月24日から8日間のスケジュールでバンコクの医療事情の視察、同国日本人会との交流などを行ってきました。

6) 広報活動

会員の皆様の協力を得て、マスメディアの取材等に積極的に対応しております。

①以下の出版物に当会が紹介されております。

- ☆「定年後実は第二の人生が楽しい事典」舛添要一氏（講談社）
- ☆「海外リタイア生活術」戸田智宏氏（平凡社）
- ☆「年金21万円の海外2人暮らしII」立道和子氏（文芸春秋）
- ☆「2nd Stage（セカンド・ステージ）」雑誌（えい出版社）
- ☆「週間文春臨時増刊・3月31日号」（文芸春秋）中で立道和子氏が紹介
- ☆「週間ゴルフダイジェスト・4月16日号」（文芸春秋）
- ☆「ビオラ」紙（福祉と健康の新聞）；66号、86～88号、97～98号
- ☆「ハーモネート2002春号」（積水化学工業株）

②テレビ関係では、日本テレビ系、テレビ東京系、フジテレビ系で各1回取材を受けており、い

それも現在企画中とのことです。

3. 会の運営に関する事項

1) 総会関係

平成13年6月16日、会員168名（うち委任状122名）が出席して実施。

2) 理事会関係

平成13年6月総会以降、平成14年3月まで6回実施。次期総会まであと2回実施予定。既実施分については添付議事録参照。

3) 役員会関係

平成14年1月実施。内容については添付議事録参照。

4. 会員動向

平成14年3月31日現在の会費納入会員数は354名となっております。

平成13年度特定非営利活動に係る会計収支計算書

(平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)

特定非営利活動法人 南国暮らしの会

(単位 :円)

科 目	予算額(A)	実績(B)	差異(B-A)	摘 要
I. 収入の部				
1、当期収入合計	1,280,200	1,748,267	468,067	
(1)入会金収入	210,000	368,000	158,000	3,000円×116名 賛助会員入会金 20,000円
(2)会費収入	900,000	1,116,000	216,000	3,000円×352名 賛助会員会費 60,000円
(3)資料売収入	80,000	97,400	17,400	1,000円×3名 800円×118名
(4)寄付金収入	20,000	21,500	1,500	13年度夏季号 会報参照
(5)基本金等利息収入	200	607	407	
(6)雑収入	70,000	144,760	74,760	広告料、他
2、前期繰越	508,822	508,822	0	
3、収入合計	1,789,022	2,257,089	468,067	
II、支出の部				
4、当期支出合計	1,787,000	1,368,088	△418,912	
(1)事業費				
①会報等事業費	490,000	422,779	△67,221	年4回発行
②会報等送料費	192,000	204,880	12,880	年4回発行
③資料等製作事業費	180,000	158,101	△21,899	
④報告書等製作事業費	80,000	105,312	25,312	規程集を南の会必携に変更
⑤案内書製作事業費	110,000	4,942	△105,058	次年度へ引継ぎ
⑥内外通信事業費	100,000	80,227	△19,773	
⑦講師等謝礼	100,000	0	△100,000	今年度は参加者負担にて充当
⑧支部関係事業費	200,000	180,000	△20,000	
(2)管理費				
①事務消耗品費	15,000	11,677	△3,323	
②諸会・交通補助費	200,000	171,546	△28,454	
③雑費	60,000	28,624	△31,376	
(3)予備費	60,000	0	△60,000	
5、当期収支差額	△506,800	380,179	886,979	
6、次期繰越	2,022	889,001	886,979	

平成13年度特定非営利活動に係わる会計貸借対照表

(平成14年3月31日現在)

特定非営利活動法人 南国暮らしの会

(単位 : 円)

科 目	金 额	
1. 資産の部		
(1) 流動資産		
現金預金	2,344,001	
流動資産合計	2,344,001	
資産合計		2,344,001
2. 負債の部		
(1) 流動負債		
前受金	1,305,000	
未払金	0	
流動負債合計	1,305,000	
3. 正味財産の部		
基本金	150,000	
前期繰越金	508,822	
当期収支差額	380,179	
正味財産合計	1,039,001	
負債及び正味財産合計		2,344,001

上記調査の結果、いずれも正確である事を認めます。

平成14年 4月17日

特定非営利活動法人 南国暮らしの会 監査役会

監査役 青柳 信 印

監査役 富永 來久夫 印

(注)本収支計算書及び貸借対照表には、監査役の署名捺印はありませんが、総会時に正式に署名捺印した
収支計算書及び貸借対照表を提出致します。よろしく御査収下さい。

ペナン・ロングステイ情報、宿泊施設、生活ガイド

講演者：トロピカル リゾートライフスタイル社
社長 石原 章太郎 氏

ビーチリゾートとして有名なペナンは、観光地としても有名ですが、実は“生活の場”としてみてもそれ以上に魅力的な地です。特に日本のシニアの方々にとって、退職後の生活やロングステイを考える地として、アジアの中でもこれ以上適した地はないと思っています。

ところが、ペナンについて観光情報は沢山あるが、いざ住むとなると情報が足りません。そこで私は2年前に「トロピカル リゾートライフスタイル社」を設立して、ロングステイや定住をお考えの方々に様々なサービスを提供するとともに新たなライフスタイルの提言もさせて頂いております。

特にペナンでのコンドミニアムは1年単位の契約がほとんどでとても使いづらいのです。そこで私どもでは家具付き、食器付きの「マリーナ ベイ コンドミニアム」を用意して、週単位(ウイークリー)、月単位(マンスリー)でご利用いただけるようにしました。

以下レジュメに従って順を追って説明させていただきます。



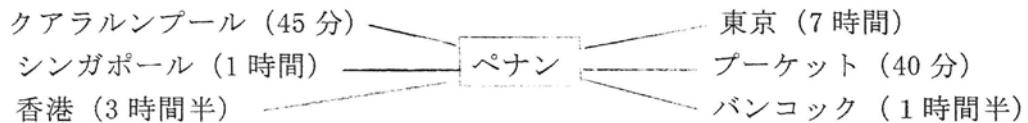
講演する石原氏

1. ペナンの概要

(1) ペナンの位置

*マレー半島の西側、マラッカ海峡に浮かぶ島で、北緯6度くらいに位置する。

*飛行機による位置関係



(2) ペナンの気候

*熱帯性の気候で、以下のように平均気温は1年中25度を下回ることはありません。

9月から12月までが、一応雨期。

*朝方並びに夜はかなり涼しくしのぎやすい。日中の陽射しは強く30度を超える事も多い。

*年間平均気温 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月
27.0 27.4 27.6 27.8 27.6 27.3 26.9 26.8 26.4 26.4 26.6 26.8

*台風、地震、噴火等の災害は皆無の土地です。

(3) ペナン社会の概要

*マレーシア全体ではマレ一人が60%占めるが、ペナンは中国人が80%を占め、華人色が強いがその他マレ一人、インド人が入り交じる多民族、多文化、多宗教社会である。

*公用語はマレー語だが英語も不自由なく通じる。日本語を話す現地人も結構いる。

*1876年から1957年まで英國の植民地で、過去200年弱にわたり英國人その他ヨーロッパ人の保養地として親しまれてきた。町は英國風。1941年から4年間は日本の植民地。

*20年以上にわたり、ビーチリゾートとして国際的に有名。海あり山ありの風光明媚な地。

*1970年代より積極的に多国籍大企業(特に半導体)の誘致を進め一大工業地帯でもある。

*日系企業も120社以上あり、日本人駐在員も1,500名を超え、日本人の生活に必要な食材その他も容易に手に入る。

(4) 治安

* 東南アジアの都市の中でも最も安全な都市の一つ。

1万人当たり殺人件数 日本(1.5人)、ペナン(2.9人)、タイ(10人)

* 日本の領事館もあり、何か事件に巻き込まれることがあれば助けてくれる。

(5) 物価、生活費

* ペナンの物価の目安として、日本の物価の約1/4。(但し、海外からの輸入品は除く)

* 住居費としては、家具付きのアパートで RM2,000 程度(64,000 円)、ホテルを月借りしても RM3,000(96,000 円) から可。

* 夫婦 2 人の生活費(食費、光熱費—ホテルの場合掛からない、交通費、娯楽費、諸費を含めて) RM3,500(112,000 円) あれば十分。——航空券は含まず——

* トータルで、月 15 万円から 20 万円で夫婦で十分な生活が出来る。

(6) 食生活

* ペナンはアジアでも有名なグルメ天国。新鮮な海鮮料理は勿論、中華料理、インド料理、マレー料理、イタリア料理等各種西洋料理も格安の値段で楽しめる。ペナン名物の屋台も見逃せない——現地の人が大勢行っている処へ行って下さい——

* 日本食は現地人にも幅広く支持されていて、日本食レストランもペナン島に 30 店位ある。

(7) 医療施設

* ペナンの医療施設、医師の技術レベルはシンガポール並みに高い。

* 最新の診断装置を装備した総合病院も 5ヶ所ある。

* 日本語を話す医師もいるし、通訳サービスの付いた病院もある。(日本クリニック…etc)

* 一般の診療費は安く、入院した時でも日本の旅行保険に入っていればキャッシュレス可。

(8) スポーツ、娯楽施設

* ゴルフ場は島内 3ヶ所、本土側に 3ヶ所あり安価に、気軽に 1 年中プレーできる。

ペナンはゴルフ天国——グリーンフィーはカート付きで平日 3,000 円、週末 4,500 円—

* 市内の会員制のクラブは、どこもプール、テニスコートその他のスポーツ施設を持ち、レストラン等も充実している。色々なイベントを常時企画し、現地の人と楽しみながら交流するには格好の場所である。

* 釣りやその他海上スポーツも楽しめ、日本人用のカラオケラウンジも幾つもある。

(9) ロングステイに必要なビザ

* 3ヶ月以内の滞在に関しては、ビザは必要ない。

* 6ヶ月以上の長期滞在には、シルバー・アービザ(退職者ビザ)の取得が必要。

(取得条件) マレーシア国内に夫婦の場合 RM150,000(480万円)、単身の場合で RM100,000 以上の預金をすること。

又は、夫婦の場合毎月 RM10,000(32万円)以上、単身の場合は RM100,000(350万円)以上の預金か、RM7,000(224,000円)以上の月収があること。

* 現在、ペナンにはシルバー・アービザで来られた日本人カップルが 10 組以上おられます

★シルバー・アービザ制度は変更。詳しくは末 英樹さんの記事(54 頁)をご覧下さい—編集

2. ペナン・ロングステイのメリット

- (1) 経済的メリット: 物価が日本の約 4 分の 1 のペナンで、年金で悠々自適の生活が可能!。
ペナンでのロングステイは、老後の財産運用の一つ。
- (2) 身体的メリット: 常夏の地で、寒い日本を離れて暮らせばずっと身体的に楽。特に気管支系、間節系の病気、花粉症を持った方には、メリット大。
- (3) 精神的メリット: リゾート地として、開放的、コスモポリタン的性質を持つペナンで暮らせば、堅苦しい日本社会を忘れ精神的にも大きく解放される。
- (4) 新鮮な刺激と多い学びの機会: 日本とまったく異なる多民族、多宗教、多文化社会に触

れる事によって、新鮮な刺激がいっぱい。ペナンならではのユニークな趣味、スポーツ、文化が沢山、安価な費用で学べる。

- (5) 自分自身、日本人をより良く知る機会：住み慣れた日本を中長期間離れる事によって、新しい自分自身、新しい日本人像を見出す良い機会に。特に現役時代、夫は仕事、妻は子供と別々の関心で生きてきたカップルにとって新しい人生を始めるに当たっての格好のキッカケになる（離婚防止策！？）

3. ペナンでの新しいライフスタイルの提案と具体的プログラム

- (1) 新しい学習と趣味に生きるスタイル：ペナンならではのユニークな文化、趣味、スポーツを切り楽しむスタイル。メインは語学修得（英語、中国語、マレー）
- 男性に適したもの：・ラン栽培 ・パテック（ろうけつ染め）・中国楽器 ・ペナンヒル登山と散策 ・ゴルフスクール ・テニススクール ・ダイビングスクール ・スタークルーズ（安い） ・大極圏 ・熱帯魚鑑賞 etc
- 女性に適したもの：・クッキングクラス ・太極拳 ・パテック（ろうけつ染め）・インド古典舞踊 ・マレー舞踊 ・中国楽器 ・ゴルフスクール ・テニススクール ・ダイビングスクール ・ペナンヒル登山 ・ラン栽培 etc

(2) 保養・休息に専念するライフスタイル：

体の健康を第1に考え、冬場の寒い日本を離れて暖かい、のんびりしたペナンで保養・休息に専念するスタイル。

*超一流の診断装置の健康診断が安く受けられる。（お勧めはペナンで人間ドックに入る——英語の診断書を持っていると万一の場合でも世界中で通用する——

*ホテル並みの施設を持った病院に入院して看護されるのも格安で可能。

*漢方治療も一般的で、安く手頃。

*健康ランド（スパ）、足裏マッサージ、エステも安くて充実。

*太極拳、海辺の散歩、熱帯植物園等、快適な運動場所がいっぱい（ボタニカル・ガーデン、ユースパーク、アイタムダム etc）

*風光明媚なホテルの選択も豊富。

シティ派：5つ星—エバーグリーンホテル、ノーザム、シェラトン
4つ星—シティホテル、シティベイビュー

ビーチ派：5つ星—ラササヤン、ムティエラ

4つ星—ゴールデンサンズ、サンディベイ

*ペナンヒルでの避暑、散策は是非体験して下さい—高度 800mで5度くらいで平地より涼しい、ヘケーブルで登山。

(3) ペナンをベースに旅行をして回るライフスタイル：

飛行機、電車、バス等の交通手段に恵まれ、費用の安価なペナンの立地条件を利用して、マレーシア国内、近隣諸国は勿論オーストラリア、中近東、ヨーロッパへ旅行し尽くす。

マレーシア国内：・クアラルンプール ・ランカウイ島（海がきれい） ・カメロン高原（1年中春。マレーシアの軽井沢） ・ゲンチン高原
・マラッカ ・ティオマン島 etc.

近隣諸国：(タイ)・プーケット ・バンコック ・ハジャイ （シンガポール）
(インドネシア)・メダン+ レークトバ ・ビンタン島 ・バリ島

海外：(オーストラリア)・パース 〈KLから5H、ペナンから7H〉 ・ケアンズ
・ゴールドコースト ・シドニー etc.

(ニュージーランド) (インド) (中近東諸国：ドバイ) (ヨーロッパ)

* 日本で買うより現地でパッケージを買った方が安い。

(4) 国際交流並びにボランティア活動に注力するライフスタイル：

新しい多民族国家マレーシアで、新しい友人の輪を広げる事によって自分の世界も大きく広がる。親目的で日本文化に大変関心のあるペナンの人々を相手に、自分の得意な日本伝統芸、趣味などを披露したり、教えてあげたら大変喜ばれる。

*現地のシニアクラブと交流

*シニアのホームステイプログラム

*日本の伝統芸や武道を教える：柔道、空手、陶芸、茶道、生け花、日本語

(5) **技術移転のお手伝いに生き甲斐を求めるライフスタイル：**

まだ、発展途上国マレーシアでは、製造業、通信産業、サービス業の各分野で日本のシニアの方々の持つ技術、ノウハウ、経験を必要としている分野が沢山あります。自分の持つ技術、ノウハウを活かしながらマレーシアでロングステイする道も可能。

有望業種（製造業）自動車産業、精密加工、金型、通信機器、公害防止関連

——マレーシアは技術志向の途上、大手企業にもニーズは高い——

（サービス業）植栽、造園、ゴルフ場グリーンキーパー、日本食料理人

(6) **精神文化に集中するライフスタイル：**

イスラム教、仏教、儒教、キリスト教など様々な宗教と、マレー人、中国人、インド人等の多民族融合の社会を肌で経験することによって、様々な精神文化を研究・体験する。

*佛教寺院巡り：極楽寺、涅槃釈迦寺、ビルマ寺

*イスラムのモスク体験、コーランの学習

*ヒンズー教の寺院、お祭り（タイプーサム）体験

*キリスト教教会の体験（有名なセントアン教会）

*サイババセンターで奇跡体験

*各種瞑想センターで瞑想に挑戦

*ヨガクラスでヨガを体験

4. ロングステイで注意すべき点

(1) 現地の習慣、常識、行動様式、生活レベルに対してまず受容的心を持つ：日本の習慣、常識、行動様式、生活レベルをそのまま期待しても無理。期待する事によって、失望が多い。前向きに現地の人々や生活を受け入れる事がキーポイント。

(2) 体の健康にまず注意：ロングステイは健康が前提。健康であればその楽しみ、広がりも無制限。當時、健康維持に気を配る。

(3) 英語その他の語学修得：ロングステイヤーの行動範囲や人間関係を広げ深めるために是非関心を持って欲しい内容。特に英語の上達はロングステイを充実させる。

(4) 諸リスクの管理：言葉、習慣の違う外国での生活ゆえ日本で生活するのと違ったいろいろのリスクが考えられるので、そのリスクをどう管理するかが重要。

(A) 健康上のリスク：気候と食事の異なる海外で思わぬ病気になることも。

——>旅行保険加入、現地の病院チェック、なれた薬を携帯。

(B) 身の安全上のリスク：

*日本とは異質な社会での盗難、強盗

——>旅行保険加入、危ない場所、夜間の一人歩きは避ける。

——>なるべく現金を持ち歩かない。外出時高価な宝飾を身に付けない。

——>貴重品は、なるべくホテルの金庫等に保管する。

*日本と違う交通情況下での自動車運転、交通事故

——>タクシーや現地人運転手、他の交通手段を活用。

——>事故を起こした時の対応策を調べておく。

(C) だまされるリスク：人を信じやすく、英語の苦手な日本人はカモになりやすい。

——>ガイドやBボイ等の日本語を話す現地人を必要以上に信用しない

——>儲け話、女性斡旋などには必ず裏があると考え警戒する。

(D) 精神衛生上のリスク：価値観、人種、宗教、常識の違う社会で精神的に孤立感、プレッシャーを感じることも。(ペナンで生活する際、この点は西洋圏に比べて極めて容易である。

——>相談できる相手、心を割って話のできる仲間、友人をもつ。

5. ロングステイは財産運用の一つ

理由：(1) 生活費が格安——おしなべて物価は日本の1/4、20万円あればOK。

<例>賃貸アパート代——町の中心街の家具付きで2,000RM(64,000円)位で可。

ホテル代——シティの5つ星ホテルで1泊200RM(6,400円)

シティの4つ星ホテルで1泊130RM(4,160円)から可。

海辺のリゾートホテルでも、月借りで3500RM(112,000円)から可。

レンタカーダイ——1日150RM(4,800円)位から可。

ガソリン代——1リットル1.3RM(42円)、ラーメン——3RM(96円)

高速道路料金——ペナン～KL間(約350キロ)が36RM(1,152円)

ゴルフ・グリーンフィ(カート付き)——平日100RM(3,200円)、

週末は150RM(4,800円)

(2) 金利が日本よりはるかに高い

過去2年間、マレーシアの銀行金利は4%から9%で推移。

100万リンギット(3200万円)程銀行に入金しておけば、マレーシアでの生活費(住居費を除いた)を利息で十分にカバーできる。日本で取得する年金はその一部が日本で貯蓄可能。

(3) 節税が出来る

6ヶ月以上日本を離れる場合、日本での地方税、住民税の課税を免れることができます。1月1日の時点で日本に居なければ地方税はゼロ。

(4) 不動産、車が値下がりしがたい

未だ経済発展途中のマレーシアは人口も急成長中で、仮にアパート、車などの資産を購入してもその売却価格は値下がり幅が小さい。特に不動産の場合、物件によつては値上がりを狙えるものもある。

6. トロピカルリゾートライフ社のねらい

ペナンでのロングステイヤー向け住施設は殆んどが1年契約ですから、中長期滞在者にはとても使いづらいのです。そこで、私どもではエアコン、家具、寝具付き、食器付きの「マリーナ ベイ コンドミニアム」を用意して週単位(ウイークリー)、月単位(マンスリー)にご利用いただけた様にしました。

(マリーナ ベイ コンドミニアムの概要)

- ① ペナン市街地に近い好ロケーション。ガーニーホテルの反対側。
- ② すぐ前が海で、プールやテニスコートも完備。部屋数は5部屋。
- ③ 週2回のハウスクリーニング・サービスも無料提供。
- ④ ロングステイヤー・サロンの利用も無料。
- ⑤ 広さは111m²と広々。2カップルの滞在でも十分な広さ。

(レンタル料金) 2002年の料金は下記料金になります。*() 内は南の会特別レート

月レート	週レート	日レート
RM 2,800 (* 2,600)	RM 720 (* 680)	RM 130 (* 120)

7. 質疑応答

質問1. 海が以前ほどきれいでないよううが…

(回答) ペナンの海は正直、きれいではない。今まで開発、開発できたので、土まじりで色が茶色い。海を期待されるとがっかりするかもしれない。

質問2. イスラム教の国なのに酒は飲めるか?

(回答) マレーシアはイスラムなので酒は奨励していない。飲めるが酒税を高くしている。

例え、* カーズバーグ(ビール…味が良い)だと4リンギット(128円)

* キリンビールの缶だと約170~180円(日本と変わらない)

* ランカウイ島は酒税がないので50円くらいで買える。

質問3. 石原社長はゴルフ場も経営されているそうだが、南の会員向けに特別レートを出してもらえるか?

(回答) お世話になっているのでOKです。バギー付きで80リンギット(2,560円)くらいです。平日はすいているので予約なしでOKです。ゴルフ場は杉本プロの設計。

質問4. 石原社長のゴルフ場のメンバーシップの概要は?

(回答) 会員数は約1,500人。メンバーシップの価格は97年までは4万リンギット(128万円)したが、今は1.5万RM(48万円)程度。ビザなしでもメンバーになれる。また、夫が会員になると妻も自動的に会員になれる。マレーシアでは年会費でなく、月会費が一般的。私の所は84リンギット(2,690円)。グリーンフィーは不要。カート代が約1400円。ボール・クラブも現地調達した方が安い。

質問5. ペナンでは、外国人が株式売買をするのになにか規制があるか?

(回答) 上場株式の売買は自由です。外貨の持ち込み及び持ち込み額の制限もない。日本に持ち帰る時の制限もない。外貨で運用する場合、為替は重要なポイントです。円/リンギットも11年前は55円でした。去年は27円までいき、今は32円です。円が安くなってしまうと海外に行くメリットがありません。

質問6. ペナンで自動車を運転しても大丈夫か?

(回答) 運転はペナンの方が荒っぽいが、勿論、大丈夫です。右ハンドルの左側通行です。ペナンに定住される場合は向こうで新車を買った方が良い。中古車の価格は、新車とそう変わりません。日本から車を持ち込むと新車を買った価格と同じくらいの関税を取られる。しかも部品がなく、維持費が高くなるので、現地の国産車、プロトンを買った方が良い。

1500CC 150 ~ 160万円位

1000CC 110 ~ 120万円位 で買える。

質問7. 向こうの米は食べられない。サバ州を一周した時、夫が腹をこわした。炊飯器を持って行きたいがどう思うか?

(回答) 炊飯器は日本と電圧が違うので変圧器が必要。しかし、10Kgもある重いものを持って行く人はいない。それより、現地で炊飯器を買った方が良い。現地のもので充分要は足りる。

* 文中の円表示は1RM=32円で換算して計算しました(編集部)

*トロピカルリゾートライフ社(Tropical Resort Lifestyle)への連絡方法

3rd Floor, Unit 13, Axis Complex, 35 Jalan Cantonment Road, 10350 Penang

電話&FAX兼用: 604-228-6540 E-mail: tpcl@tm.net.my

★オフィスには、松井さんという日本人女性がいます。

(注) お申し込みその他は会員個々の自己判断と自己責任でお願いします。

(文責:編集部 足立)

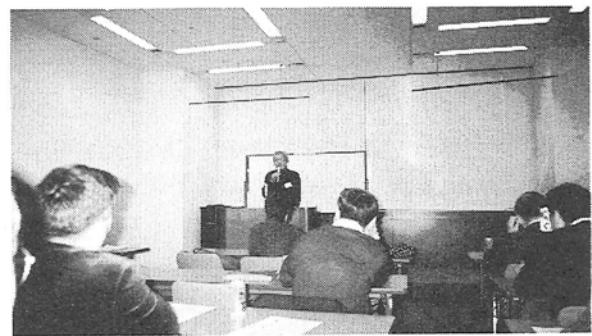
バリ島 夫妻でロングステイ

神奈川県在住 会員 No.6 石川 紹夫

平成13年5月、2ヶ月オープンのチケットで、最初バリ島内陸部にあるウブドに1週間予約した。最初の宿泊先のスタッフ、料金、場所柄などがとても良かったので、他は探さず最後までそこに滞在することにした。

帰国後もそこの素晴らしさが忘れられず、10月再度2ヶ月のロングステイを実施した。

バリは東京の2.5倍位の島。海辺の町として、クタ、レギヤン、スミニヤック、ヌヌール、ヌサドアが有名。なかでも、ヌサドアはプライベートビーチ付きの高級ホテルが建ち並び、ゴミがないのが素晴らしい。



講演する石川さん

インドネシアはイスラム圏なのに、バリ島は90%がヒンズー教徒によって占められている。中でもウブドは100%がヒンズー教である。カーストという階級制度があって、結婚の制約はきびしく、上の階級の人には丁寧な言葉を使わないといけない。しかし、全般的にインドのカーストと違って堅苦しくなく、職業の選択も自由である。

宿泊先

空港に着く便が夜10時過ぎなので、初日の泊まるところが大事。我々夫婦は前回泊まったフォーシーズンズの日本人スタッフに教えてもらったウブドの「プリダラム」というコテージに宿泊した。14室の小さなコテージで公称価格は朝食つきで一泊2人で22.5万ルピア+TAX=24.8万ルピアであった。価格は基本的に個人個人の相対折衝である。我々は今回15万ルピア+TAX=16.5万ルピアにしました(1円=90ルピアとして約1,800円)。部屋は12畳程度、テラス、バス、トイレ、洗面所が付いている。他の部屋には若い日本人女性の長期滞在者が多く、中にはインドネシア語がペラペラの人もある。バリの若者は美男子が多いせいかもしれない。

コテージのスタッフは6名のフレンドリーな若い人達で、皆んな面倒見が良く、妻が腹をこわした時も助けてもらった。彼等の月給は大体3,000円くらいで、JTB勤務の現地スタッフでも20,000円だった。月給20,000円はかなり高給の方で持ち家が買える層である。外国人にとってはそれだけ物価も安く、暮らし易いと言える。

住居(不動産)

長期滞在者が例えば2ベッドルーム、バス付き、トイレ付きの家を借りる場合、質にもよるが大体1ヶ月2万円前後で借りられる。長期で借りると安くなるようだ。最近、現地人の名義を借りて自分の家を買う日本人が増えている。我々の知り合いで1軒200万円程度で買った人もいる。(これはあくまで一例で、もっと安い家もあれば高い家もある)。ただし、法律上は外国人は土地を買うことはできない。したがって幾らか払って現地人の名義を借りることになるのだが、75%から90%の人は最終的に現地の人に取られてしまうそうで、安易に手を出すとやけどをしそうだ。

ビザ

一昨年1年間の居住が認められるリタイアメントビザが制度化された。ビザ無しの観光目的の場合、最長2ヶ月滞在できる。延長する場合は一旦隣りのシンガポールに行って日帰りで帰ってくれば、新たに2ヶ月延長できる。これを繰り返せば1年でも滞在可能。

交通手段

ベモ(乗合自動車)に乗った時のこと。相場が500~1000ルピア程度のところ10万ルピアと言われた。女の人がそれは高すぎると言ってくれたので2万ルピアまで下がった。別の2人が降りるところを見ていたら4千ルピアしか払っていない。ウブドはメータータクシーがなく、ほとんどが白タク。外人は2倍以上の値段を提示されるので交渉が必要。少ないメータータクシーで相場の目安を把握しておくとよい。ヌヌールやクタ等の海岸沿いの町や州都デンパサールのタクシーは殆どメーター付きで安心。

食事

どのコテージも朝食が付く。パン主体で、卵、果物、コーヒー又は紅茶が付く。卵は焼き方を聞いてくれる。果物はマンゴー・パパイア・スイカ・バナナなどの盛り合わせで結構量が多い。ビールはジュースと大体同じで安い。昼食と夜食は近くのレストランで食べた。2人で500円もあれば充分だ。北の方に行けば日本米に似たようなものも作られており、日本料理店はそれを使っているようだ。

現地の人は皆と一緒に食べない。自分の食べたい時に食べたいだけ食べる習慣らしい。米は粘りが出ないように、炊くのではなく蒸かしてパサパサにして食べるのが美味しいご飯らしい。

通貨

インドネシアルピーであり、為替は1円が、5月：90 ルピア 10月：84 ルピアであった。ウブドではいたるところに両替商がありレートの競争をしている。ごまかしは無かつた。

価格差

前述のベモの例ではないが、現地の人と外国人の価格差は驚くほど高い。幾らインドネシア語がうまく話せる人でも現地の人と同じ価格で買うことは難しい。

季節

5~8月が最高。果物は雨期の12~2月頃が最も美味しいが、虫が多いのが難点。妻が10月、目に見えぬ虫に刺され湿疹が出た。日本のキンカンなどは全く効かず、現地の薬を塗ったら一発で治った。

何をするか

我々は何もしない旅を目的としてバリを選んだ。朝は小鳥のさえずりや鶏の鳴き声に起こされ、夜は螢が飛び交うのを数える。昼間は外が暑いのでテラスで爽やかな風に吹かれながら本を読む。たまに美術館やバリ舞踊の鑑賞にでかけた。車で10分圏内に4~5箇所の美術館があり、バリ舞踊は毎日どこかで開催されている。我々は特に夕方以降の涼しい時間帯を選んで、極力歩きまわるように努めた。

(質疑応答)

Q1.バリはペナンのように日本人の居住区はありますか?

(回答) 特に居住区というものはないが、ウブドだけで200人くらいの日本人女性が現地人と結婚して暮らしている。日本人の奥さんがやっている店も多いが、日本人同士の付き合いはないらしい。長く住んでいる日本人は良くないと言う人も中にはいます。

Q2.借家の契約期間は普通何年ですか、また日本人が多く住んで居る地域はありますか?

(回答) 借家契約は普通、1年ですが半年でも月単位でもそれは交渉次第です。また、ウブドから2時間くらいかかる所に日本人の多く住む住宅地があり、最近では増えてきているそうです。

Q3.名義借りで不動産を買って成功している人もいるのですか?

(回答) 余程信用のおける現地人との間に、後で問題の起きないように細かく契約しておけば成功するかもしれないが、1回や2回バリに行ったくらいでは信用のおけるバリ人を探すのは難しい。

現地に5年居た大阪出身のある経営者から聞いた話だが、バリに自分の家を建てて凄く後悔していた。家を建てるという事はすなわち村人になるという事で、村の行事や決めごとに積極的に参加しないと村八分になるらしい。それでなくともなんだかんだと干渉が多いし、年に何回もあるオダラン(お祭り)の際の「ものいり」も馬鹿にならない。寄付を断ると村八分にあったうえ、家を焼かれてしまった人もいるらしい。家の所有権を得ることが出来たとしても、こういう事は我々外国人にはなかなか分からないので注意を要する。

Q4.リタイアメント・ビザ制度についてもう少し詳しく教えて欲しい。

(回答) 一昨年11月頃発表されたので、詳細はまだよく分からぬが大筋は大体以下の通り。

- 55歳以上で、月額US\$2,500以上の収入があるという証明が必要。
- 宿泊滞在施設としてUS\$35,000以上の物件を購入、又は月額US\$1,000以上の物件を借りる。
- 海外旅行傷害保険に入る事。
- ビザの有効期間は1年間。延長は継続して最高5年間まで。

(文責:編集部 足立)

「南極」冒険記

東京都八王子市在住 No.442 平尾 守満

■なぜ？なぜ？南極へ？

- ・中心部年間平均気温 — 55.5度（上空1kmより
も30度低い逆転現象）
- ・中心部年間降水量 70mm
- ・陸地の97%が氷で覆われ、その氷床の厚さ平均2450m
- ・南極の周りの海域は猛烈な偏西風が吠え、ブリザードで
荒れ狂っている

これが南極大陸の概要です。沸騰したお湯を空中に放り出すと即座に爆発して地面に落下しないうちに氷の粒になってしまうといいます。想像の域を越えた世界です（その南極の厳しさが「旅行記」でなく「冒険記」とした所以です）。「そんな南極を見たい、その空気を吸いたい、その大地を踏みしめたい」これは「私の少年時代に抱いた夢の実現」のためでした。



講演する平尾さん

■南極どうだった？

と聞かれても、半島＆小島の一部に佇んだだけでおこがましい思いと、その雄大さ、美しさ、厳しさ…その他、どれをとっても、残念ながら、私の表現能力では言い表しがたく躊躇われもします。冒険家サミエル・チイラーコーリッジ氏の弁を借りれば「氷の切り裂ける音、吹きすさぶ風、厳寒の静寂、南極で起こるそのすべてが神様の氣まぐれとでも言って笑うしかないか……」となります。

■笑っていられない南極の現実

この地球最後の自然の聖域に環境汚染の影響が出てきています。

・ 地球温暖化の影響

南極には世界中で排出された二酸化炭素、化学物質、放射能等のガスが気流に乗って運ばれてきており、温室効果ガスの影響で氷が融け始めている（今年3月5日南極半島東側で1万2千年前の棚氷崩壊——朝日新聞）。白い大陸の黒い土がむき出しになれば海面が上昇し水没する都市が出てくる。

・ オゾン層破壊の影響

フロンガスによるオゾン層破壊による紫外線増加が、皮膚がんや白内障を起こしているだけでなく、生命の根源である遺伝子構成物質のDNAを破壊し多くの植物プランクトンを死滅させている。これは食物連鎖の始まりが切られ地球全体の生態系に重大な影響を及ぼすことになる。

・ 観測基地が公害・汚染源

基地が動物たちの繁殖地・営巣地を奪い、その周辺は粗大ゴミ・化学薬品等缶のゴミ捨て場化している。等々、これらはすべて人間活動による環境破壊である。

■地球に負荷を与えない暮らしぶりを

南極は今や聖域ではない。その環境破壊の進度は地球破壊へのバロメータ化している。今こそ真剣に「南極の永久聖域化」を考える時です。私たち一人一人が「地球に負荷を与えない暮らし方」を実践する時です。

「海外に移住する場合でも地球に負荷を与えない環境整備されたところを選ぶべきだ」。こんなことを考えていました。

パース初心者によるパース入門

パース在住 会員 No. 347 奥川勝俊

皆様ご承知のように、豪は英國の影響が強い国ですし、滞在にあたって、欧米諸国と比較して特に配慮すべきことは殆どありませんので、とりあえず perth 滞在の実践をお勧めいたします。そして、南国暮らしの会は情報の蓄積・交換のために在りと私は勝手に解釈しておりますが、是非とも皆様の手で、以下の情報を塗り替えてください。

A. 宿泊案内

南の会にピッタリという宿泊情報がまだ開拓されていないというのが、現状です。
しかし、Perth には、一般的に、宿泊設備は多数あります。これから、会員が宿泊されて情報を蓄積する必要がありそうです。

1. perth 国際空港 (国内空港とは 16Km 離れている)内の ARRIVALS の出口近くに宿泊案内用広告電光板、資料横に無料の問い合わせ専用電話があります。私は第 1 回目の perth 訪問のときはここで宿を探しました。perth 駅徒歩 10 分の backpacker lodge でしたが、Twin の single use で \$34、空港への送迎は無料でした。電話は英語でしたが、迎えに来てくれたのは日本人のワーホリ生でした。国際空港から city (perth 駅付近を city と呼んでいます。つまり perth city のこと) 迄は、\$10=シャトルバス、\$40=タクシ一位です。

2. Yoko さんの民宿

鈴木剛さんのご案内のとおりです。YOKO さんは 10 年以上 perth に住んでいるので、生活情報が豊富です。私も大変お世わになりました。予約はご子息、森本真一さんの home page を使用するのが best?、Yoko さんは 2 泊 3 日以上を希望されています。YOKO さんも言わわれているように、南の会員が 1 ヶ月以上民宿に LONG STAY するのむつかしいものがあります。



パース駅舎

3. perth には business hotel や女性の 1 人旅でも安心な hotel があります。

3-1. Perth Tourist Lounge (Level 2 Carillon city 207 Murray Street Mall)

日本語のみで、旅の相談をしていただけてとても親切と評判。

PERTH 駅近く carillon food court の上にあります。

3-2. 日本の guide book、旅行社でお調べください。

guide book の古い情報には注意。perth はインフレが進行中、city では再開発が目立つ。

3-3. 私が自分で泊まるために Lobby に入った Hotel

Miss Maud Swedish(朝食付きで 90\$位) ...私は 2 食付きの special campaign \$150/2 人で宿泊しました。

Perth city hotel (\$85...1 部屋)、空港の例の出口情報のパンフレットでは \$69 Twin room (one/two persons) airport tariff 2002 とあります。

Parkinn international (\$90/部屋... Miss Maud Swedish 隣)。

4. north bridge (perth 駅の北隣、restauant 街) に backpacker lodge、city hotel がいくつかあります。下記の PERTH EXPRESS にも日本人スタッフの情報も含め案内あります。

5. 豪では日本と比べて caravan site がとても気楽で reasonable です。 perth で cabin が \$80/2 人/night 位、perth を離れると \$50 位。
WWW.CARAVAN.WA.COM.AU



B. 食事

1. 食材

豪州産ささにしき、こしひかりが 10Kg, \$11

パース市公会堂

(770円)。牛、豚肉は日本の半額、鳥、卵は同じ、魚は高い。野菜、果物は半額。日本製のマヨネーズ、カレー粉、納豆など輸入品は日本の数倍。

2. レストラン

perth の restaurant は安いビール、ワイン、うまい空気を売り物にしているように思いました。空気が乾燥しているためか、或いは、私が高血圧のためか、体が飲み物を欲しがるのです。そのような表現をすると、いかにも perth のレストランがマズイようにも聞こえますが、下記の飲茶店などは、以前 JAL のスチュワーデスが世界で一番うまいと推奨していた Sydney の店とあまり変わらないと評価しております。東京、Sydney のように食事をするためには、まず行列からという手順が無いのもうれしいです

中華、イタリアン、ベトナム、kebab など variety はかなりあります。

私がしばしば利用するような中級以下では、料金は日本とあまり変わらないのでは? 日本では、工場で大量生産するせいでどうか? 近年価格競争で価格低下がみられますが perth は値上がりぎみです。perth でも数年前までは、日本のバブル紳士が肩で風を切るように闊歩していたそうですが、今は見られません。高級日本料理屋も閉店が目立ちます。perth で 1 番といわれる回転すしを試しましたが、2 度と行く気がしません。

私は日本では回転すしファンでしたので、寂しい限りです。

northbridge 地域は再開発中ですし、レストランは消長が激しいようです。homepage で紹介されているレストランは作者が時間をかけて体験したものならば、とても貴重で、ありがたいのですが、guidebook でも同様に情報が古いと使い物になりません。perth で老舗の homepage で推薦されているレストランを訪ね歩きましたが 8 割方が移動、閉鎖されておりました。私はいまは、

<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Cafe/9651/>

を時々参考とさせていただいております。

特に、高級志向なあなたには

<http://www.intercomp.co.jp/fun/>

以下に私が試した店を記します。

Food court

以前 sydney に出張したとき Food court が多様で、とても便利でした、特に小人数だと、手軽に利用できますが、perth の food court で特においしいと推奨できる店は発見できずしております。

Old shanghai...James street, 青猫バス(blue cat)の 13.northbrid 向かい 50 meter 程、ここは food court ですから味がどうだというよりも、1 人でも気軽に入れます。



飲茶

Emperor's court...66 Lake street northbridge
Oriental inn...James street northbridge, Perth city 駅から north bridge に入ってすぐ、brace monkey の前。

イタリアン

私はイタリアンのおいしさが今一解かりません。ピザのパン生地のへりの硬いところが口の中でガリッとするのがいやです。私は下戸ですので、イタリアンは十分にワインやビールで口を潤すのが前提なのかもしれません。但し、perth は地中海性気候ですし、イタリアンが沢山住んでいるようです。以前、東南アジア在住の日本人の home page で、perth のイタリア料理をさすがに perth と賞賛しているのを見たものですから、1 件だけ紹介します。

Uncle vincent pizzabar 5p.m.-late 7D lake street northbridge

それ以外にもイタリアンは沢山ありますし、northbridge で人が入っている店なら問題ないようですが、私には評価の資格なし。

Fish & chips

Cicerello's Fisherman's wharf fremantle。1 人分 \$7.7 ですが、日本人 2 人分の量。

日本食堂

さむらい、日本語の掲示板もあり若者の支持を集めています。日本語現地誌 JANEWS, PERTH

EXPRESS(共に月刊)が入手できます。カツどん、親子丼、牛丼、カツカレーも REASONABLE、perth 駅そばの名物店ですから日本人に尋ねれば、すぐ見つかります。

魚屋

SEALANES FOOD SERVICE 178 MARINE TERRACE SOUTH FREMANTLE 宮崎副理事長推奨店、レストランではありませんが。

C. 日常の買い物

我家は perth city より北 10 Km, Warwick 駅より徒歩 20 分にあります。徒歩 6 分の小さい SHOPPING CENTER で日常の買い物の多くは済みます。生鮮食料品を扱っている店は日曜も営業していますが、18 時迄。平日は 19 時迄。

3 Km ドライブすると、SUPER が 2 店あり、映画館もある大型 SHOPPING CENTER (WARWICK SHOPPING CENTER) があります。(日曜全休)

4 km ドライブすると、更に大きな、KARRINYUP SHOPPING CENTER, 更に 2 Km で INNALOO の SHOPPING CENTER がありますので、車さえあれば、買い物は市内より便利ですが、日曜日は殆ど休みです。一方、市内(perth city)は空洞化が進んでいるようで、大きな SHOPPING CENTER がありません。という訳で、私どもは市内では、日常の買い物は殆ど致しませんが、日本食は Northbridge の Lion Oriental Foods...13 Fitzgerald street にて調達致します。

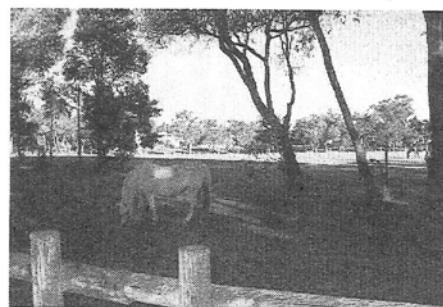
D. 私

No.347 奥川勝俊は、2001.9 月まで、埼玉に在住し、東京の事務所に通勤しておりました。退職の 1 年前に、会社の組織などが激変し、2001.5 月に辞表提出、9 月 26 日に退社。退職時 56 才でしたので、経済的にはもう少し足りないと自覚していましたし、周囲からはもっと働けと言う声が聞こえて来ましたが、足の骨の異常、高血圧など体力の衰えを自分自身、痛切に感じておりましたので、最後は周囲の制止を振り切るように、引退いたしました。私が南の会に入ったのは 2001 年初めでした。

渡豪経験としては、1999.6 月に出張で 1 週間 Sydney に滞在したきりでしたが、そのときにみた Hyde park は London の Hyde park よりも美しく、街の活気は Newyork に迫るものがありました。

最初の南国暮らしを豪と決めた理由の 1 ツは、若い頃教育された英語以外に、今更、新たな言葉を覚えるのがイヤだったし、南国暮らし初心者の私には、一番トッキやすく、無難と思えたからです。豪と決めたあとは、私が引退前に得ることができた情報は殆どが web site からでしたが、その段階で、豪の適地は gold coast か perth のどちらかと思われました。今思えば、両方にユックリ滞在すればよかったのですし、他の地域でも良さそうなところはありそうですが、飛行機嫌いなせいでしょうか? 或いは、" 住所を豪に持つ " という命題にとらわれ過ぎたのでしょうか、どちらに住むか? という課題で、頭が一杯でした。GOLD COAST の不動産屋さんや、在住の方に E-MAIL で教えていただいた情報を組み立てると、

GOLD COAST は MINI BUBBLE? というのが私のまとめでした。その段階で、PERTH が本命と考えるようになりました。更に、南の会の懇親会で、藤本理事、鈴木剛理事から PERTH についてお聞きし、1 度も perth を見ずに perth と決めました。



付近の公園

E. PERTH でうれしいこと

1. きれい

兼高かをるが言っているように街の風景だけではなく、海も空気もきれいです。

私は呼吸器が弱いので、日本(埼玉・東京)では毎年冬は声が枯れて、ノドが痛くなります。はじめて PERTH を訪れたとき(2001.10 月)は、古い車が多くてビビッタのですが、人口密度が低いせいでしょうか? それとも海風のせいでしょうか?(perth)city の街中でも喉のまわりは予想外に楽です。それでも、こちらの夏は湿度が低いためでしょうか? 時々、日本に居るときと同様に咳のツッパリとなります。いまのところ VICKS DROP ひとつで收まります。

私は 2, 3 年前から年齢による体力低下が著しいのですが、トイレも近くなりました。PERTH の街は、ホームレスも少ないし、トイレまでもきれいです。

USAではトイレが少なく、在っても鍵が掛けられて困りましたが、PERTHでは海岸の釣り場にもトイレがあります。

2. 服装が質素

日本では家族からホームレスと見分けが付かないと言われることもありました私の服装ですが、

日本でも自分自身、やや違和感を感じることがありました。たまたま、オーストラリアの伝統的なユニフォームと似ておるようで、perthでは標準で通用いたします。

3. 交通費が安い

ガソリン1リットル0.8\$ (56円=70*.8)位、毎日変わる。

高速道路通行料はタダ。

市内を走るcatバスも無料。

タクシーの運転手もgentleで価格も安い(日本と較べて)。

F. PERTHで?!なこと

1. 空き巣狙いが多い

治安が良いと言われているPERTHですが、空き巣狙い、車泥棒が多いようです。

我家は未経験ですが、(まだ2ヶ月ですので?) security system をsetするのがとても煩わしいです。現地の人に注意され、車にはモノを残さないように、気を使っております。なお下記、PERTH EXPRESSによれば、日本人女性が夜が怖くて外出出来ないと発言があります。他の都市同様 perthにも地域差があるし、日本人特有のガードの低さかもしれません。というのも、私の偏見かもしれませんのが社会のsecurity systemとして、何もしない役人をかかえている日本よりも、自分は自分で守るほうが優れているように思えます。良いsecurity systemの開発をお願いしたいものです。

2. 妻と毎日、近くの公園や海岸で散歩を楽しんでいますが、人とすれ違うと、半数は HI, GOOD DAY, HOW ARE YOUなどと軽く挨拶を交わします。そのようにとても生活上では FRIENDLYなのですが、大きな買い物をする等、ビジネスの世界に近づきますと契約社会ということでしょうか、生活優先ということでしょうか、あとで知らせるとか、明日電話するとか言って、1週間以内に返事があればよいほうで、それよりもかなりあります。



ウォーターフロント

3. コミュニケイションが難しい。英語だからなんとかなると思っていたのですが、彼らが何を言っているのかわかりません。彼らが喋っているのは国際英語ではなく、豪語です。自豪主義を捨てたが、USAと較べて国際化はまだまだというところでしょうか?

と言いながら、イラツク自分をなだめておりますが、要するに、私の英語力が足りないです。私が豪の社会ルールを理解していないこともあります。家や車を購入するとき銀行が振り出した小切手(BANK CHEQUE)を要求されました。PERSONAL CHEQUEは受け取ってくれません。日本では口座に振り込めば、確認を含めても半日で済むことが、銀行に連絡して、サイン入りの手紙を書いて郵送して、結局2週間を要しました。(はじめは2ヶ月、担当者が1ヶ月休んでいた!)

4. 日射しが強い、強すぎる。最近は暑い日は10時---15時の外出を控えています。

高気温でも、低湿度なので日陰は涼しい。皮膚ガンになりやすい白人種は男性でも、80%以上の人人が日焼け止めクリームを使用しているのだと、最近わかりましたので、私も対策を考えねば。perthの風景が美しくみえるのは、この強烈な日射しで、色が鮮明にみえるためではないかと思い始めております。

5. 本年2002年2月は豪は冷夏で、天気予報をみてると東海岸は毎日雨ですが、地中海性気候のPERTHはカンカン照り、水不足のためスプリンクラーは週2日のみと制限されています。自分が所有している土地のみではなく、家の前にある歩道部分は市有地なのですが、住んでいる人に管理

責任があります。手で庭に水を撒くのは制限なしですから、週に5日は毎日2時間かけて水撒きをします。そうしませんと、夏のperthは半砂漠状態ですから、すぐに芝や植木が枯れてしまいます。という訳で、最今の私の日課は庭の管理です。実はこれは、典型的日本人がperthではじめにかかる習慣病だそうで、広い庭に引っ越してきて、はじめは面白がって手入れをするのだそうですが、3ヶ月もすると、広い庭がうとましくなるようです。私は3日でこの症状が現れています。

G. 医療情報

1. JA NEWSに日本語医療センターの広告・広報がありましたので、高血圧治療薬の処方箋をくださいと電話したところ、とても親切に対応いただきました。全て日本語で済みました。このときの経験だけで申しますと、日本の健康保険加入者が支払う治療費とPERTHで保険の無い私が支払う治療費は殆んど同額ですので、とても、REASONABLEです。

2. 先日、救急隊員の仕事振りを目の当たりで見ました。食中毒のためベットで嘔吐し苦しんでいる老人に歩けますか？トイレには自分で行っているので、歩けるでしょう？と尋ねていました。老人は答えを発するのも容易ではありません。それでもさあ歩きなさいと促された老人はベットから立ち上がりろうとしましたが、よろけてしまい、とっさのことで、横で見ていた私ともう一人の日本人で両脇から老人をかかえるようにして、数歩歩きましたが、老人は自ら廊下にへたり込んでしまったので、結局日本人2人で、その老人を背負って救急車まで運びました。その間救急隊員は見ているだけで、何もしません。

欧米諸国同様、豪は自己責任の国と聞いておりましたが、これはそうゆうことの一端なのでしょうか？

H. ビザ

私はリタイアメントビザを2001.10月に取得しました。日本語のビザコンサルタントは20万円程の費用を要するようです。豪州屋さんのhome pageでvisa consultantに予備的な質問をしましたが（5000円）、英語のみでしたので、結局自分の時間の節約にはならないと思い、コンサルタントなしでやることにしました。早速大使館にて、application formを取得→記入→申請しましたが、ビザを手に入れるまで4ヶ月を要しました。高血圧のため、再検査を行う必要があった。オーストラリア大使館よりいただいた書類に不備があったなどの理由でしょうか、通常より1ヶ月程度余分だったかなと思っております。

2001年12月以降のリタイアメントビザ取得者は延長申請について健康条件および持ち込み金について初回の取得時と同様（？）の条件（制約）が付きました。私はこの辺の条件を詳しく調べないで、頭からリタイアメントビザを取るのだと決め込んでしまいました。

I. 私の疑問

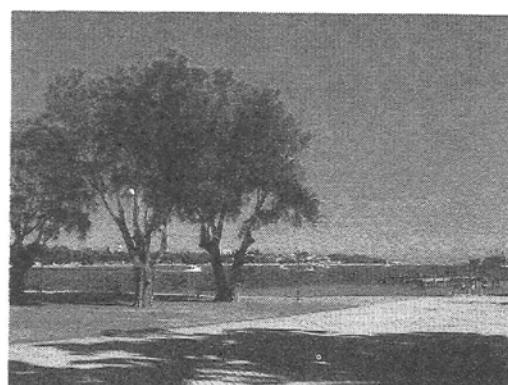
今にして思えば、3ヶ月なり6ヶ月の観光ビザで気軽にペースを楽しむほうがよかったのかな？とやや反省しています。

家の購入について、観光ビザは新築のみ、リタイアメントビザは中古も買えると決められていますが、リタイアメントビザに基いて購入した家はビザが切れるときに現地の人に売却するという条件が付けられています。適当な借家がみつからなければ、観光ビザで新築を購入し、3ヶ月なり6ヶ月のtime shareでLONG STAYを愉しむのが、究極の利用法？

Perth cityから南方70Kmにマンジュラという保養地があります。第2のGold coastと言われておりますが、知人夫婦が10年前より、リタイアメントビザで夏季のみ約6ヶ月滞在しております。私のみたところ、このご夫婦はリタイアメントビザは不要です。

リタイアメントビザは一時滞在ビザと明記されておりまますし、東京のオーストラリア大使館員は夫婦のどちらかに健康診断で問題があれば、

夫婦共に、強制送還されると宣言しております。私は、この辺のことをあまり考えずに、時間と金をかけてリタイアメントビザを取ってしまいましたが、観光ビザにて付近のアジア諸国と行き来し



マンジュラマリンテラス

たほうが、南国暮らしを楽しめるのではないかという疑問を持っております。この辺は皆様のご経験、知識を蓄積し、最終的には自分のスタイルを自分でつくる必要がある？

J. 資金の調達

リタイアメントビザ取得の条件を満たすため、私は65万豪ドルを豪の銀行に預ける必要がありました。（リタイヤメントビザは一時滞在ビザですが、65万ドルとは随分な額です）野村證券で豪MMFを購入すると為替手数料が50銭で済みます。これは銀行の半分以下です。1000万円以上は25銭です。ここで得た豪ドルはCITI BANKに送り、その後更に、豪の銀行に送金しました。

K. 家と車

地元の大手不動産会社に勤めている森本真一さんの紹介で築30年弱の古家を購入、2001.12.17日に入居しました。南の会のguide lineに反しているかもしれません、今のところ大きな問題はなく、森本さんにも良く面倒をみてもらったと評価しております。近くに黒鳥の住んでいる公園があるせいか、庭に小鳥が飛んできて、可憐な鳴声を楽しめますが、オウム、インコ、カラスの類もやってきて、ギャーギャーやっています。perth cityから15Km、スカボロ海岸から車で5分に位置しています。私は神奈川県茅ヶ崎市の海岸近くで生まれましたので、昔の茅ヶ崎海岸付近にとても似ているこの海岸が気に入っています。

オーストラリアでは、日本と同様に引越しは家具を持って、移動します。日本から身の周りの衣料のみで来た私と妻は、どうせ死ぬときは裸なのだから、余計な物は買わないと決めてきたのですが、約1ヶ月間買い物をしまくることとなりました。そう言うと、バーゲン売り場で手当たり次第買い物カゴに放り込む光景を想像されがちですが、多くの時間は欲しいものをみつけるために費されました。まず第1にどこで何を売っているか解からない、地理がわからない。店がみつかっても、欲しいものが買えない。始めは、散水用水道ホースを延長するのにも、数日を要しました。

以前 USA の地方都市に3ヶ月程、仕事で滞在したときに、国際免許を持って行がず、野菜など生鮮食料品の補給がとても不自由でした。PERTHではどんなものかと思っておりましたが、perthでも私は家より車が先に必要だと思います。2回目のPERTH訪問では、レンタカーを借りに行つたのですが、クリスマスシーズンということで、車両がありませんでした。それならばと、12月11日に小さな車の購入手続きをしたのですが、入手は18日でしたので、まあまあのタイミングで車も入手できました。perthは電車、バスがかなり普及していますが、USAよりも人口密度が低いということもあり2名以上のlong stay生活を考えると私にとって車は必須です。短期間では、レンタカーで十分ですが、英国同様左側通行ですが、実際に走行してみると、ルールが異なる、スピード感が異なる、方向を捉えにくい（目立つ建物が少なく道路の特徴が少ない）など慣れるまで要注意です。

車の運転で欠かせないのは、INTERNATIONAL LICENCEですが、銀行口座開設などにIDとしても利用価値が高いので、必須と思えるのですが、日本の免許証だけで済ませている永住権を持っている日本人豪傑（！）もいます。

とめどなく書いてみましたが、少しでも皆さんのお役にたてれば幸いです。

ゴールドコースト暮らしの手引

オーストラリア在住 会友 今井 渡

世界三大リゾートのひとつ「ゴールドコースト」。初めて訪れた人はその美しさに感動します。砂浜は長く美しく、一年を通して雨が少なく、晴日は300日に達します。年の平均気温は20°C、夏は平均25°Cと涼しく、冬の平均は15°Cと暖かい。また災害が極めて少なく、自然と人工の調和がとれていると言われています。近代的なホテルやコンドミニアムの高層ビル群に隣接した山と海、市内には南半球最大のショッピングセンターや24時間日本語通訳のいる病院もあります。ゴルフ場に至ってはローカル色豊かなものから本格的なチャンピオンコースまで色とりどり、メンバーコースとパブリック合わせて40箇所くらいあります。朝食前や夕食前にちょっと行って9ホール回って来るということもできます。

ウォーターフロントの瀟洒な家では、庭で本を読み、ビールを飲みながら釣りをする人もいます。釣れるものは、黒鯛、キス、コチ、サヨリ、鰻、マットクラブ等々。

リタイア後には夢のような生活！日本人のみならず、オーストラリア人にとっても憧れの地です。そんなゴールドコーストに住みたいと願っても、情報がなければ不安です。手続きを知らなければ計画も立てられません。希望を持ってゴールドコーストに来たのはいいが悪徳業者に騙され、無残にも夢破れた人も決して少なくありません。失敗なく、楽しい生活ができるよう、十分な知識をもって計画を立てる上でこの原稿がご参考になれば幸いです。

なお、移民法は毎年変わりますのでご注意ください。

ビザ

ゴールドコーストで暮らすには何らかのビザが必要である。ビザは目的に応じ、観光、学生、リタイア、永住、などの種類がある。観光ビザは条件さえそろえば3ヶ月プラス延長の3ヶ月、計6ヶ月ステイすることができる。延長の条件は、その期間滞在するだけの資金的余裕があることが必要。リタイアビザはもっと落ち着いて暮らしたい人向きで、ビザ取得条件は次のとおり。

- ① 夫婦どちらかが55才以上であること
- ② 夫婦ともに健康に問題のないこと
- ③ 夫婦とも過去に重大な犯罪歴のないこと
- ④ 65万オーストラリアドル(A\$)を持ち込める、または20万A\$の持ち込みプラス4万5千A\$の年間収入があること。(2001年は1A\$=約60円)
- ⑤ 民間の医療保険に入ること

リタイアビザを取得すると、どんな家を買うこともできる(通常外国人は中古の住宅を買うことはできない)。初回は4年間のビザで、その後2年毎の更新となる。一般的には条件さえそろっていれば取得も更新も問題はないが、移民法が毎年変わるため、専門家に相談するのがよいでしょう。

リタイアビザ申請の方法は、東京にあるオーストラリア大使館や、ゴールドコーストの移民局事務所で申請書を受け取る。そして大使館指定の病院で健康診断書を、警視庁で無犯罪証明書を、銀行で預貯金残高証明を発行してもらい、申請書に必要事項を記入の上、前記各証明書とともに大使館、または移民局に提出する。

これらの書類作成は個人で行うより専門家に依頼する方が、適切なアドバイスが得られ、確実性があるのでお勧めしたい。専門家にもいろいろあるが、移民局公認のライセンスを持った信用ある人に依頼すること。悪徳業者に騙されたり、ビザが取れずに泣かされた人もあるので注意してください。

リタイアビザを取るのが面倒な人、年に数ヶ月だけゴールドコーストに住みたい人には観光ビザでの滞在をお勧めする。日本の蒸し暑い夏や寒い冬をゴールドコーストで過ごすのは素晴らしいことだし、期限内なら何度でも出入国は可能である。

住居の選択

下調べのために滞在する場合はホテル、コンドミニアム、ホリデーアパートメントなどに滞在し、現地の事情を知った上で長期滞在のための家を探すのがよいだろう。観光都市ゴールドコーストは宿泊施設が多く、シーズン以外は安く泊まれる。一番高いのはホテル、一番安いのは車で旅行する家族が宿泊するモーテル。コンドミニアムは大型のアパートで、ホテル並みの施設がそろっているところが多い。ホリデーアパートは観光客用の短、中期施設。コンドミニアムとホリデーアパートはユニット単位(一戸)で室を貸す。

例えば私共で経営している PALM WINDS ホリデーアパートメント(日本でいうリゾートマンション)は、4人用でダブルベッドのオൺスイート(主寝室)、バスルーム衣装部屋、ツインベッドルーム、バスルーム、キッチン、リビング、ベランダ(海に面する)、地下駐車場付き、プールとバーベキューエリアの利用可で、大体ホテルの1人分料金です。このようにコンドミニアムやホリデーアパートなどはユニット単位なので1人よりは2人、2人よりは4人の利用が安くつく。下調べまたは長期滞在の準備のためなら、家具やキッチンはすべてそろっている上記のような施設に宿泊するのが賢明だと思う。一戸建ては通常6ヶ月単位の契約で、延長も可能。

コンドミニアムやホリデーアパートを借りたい場合は、そのマネージャーカウンターに直接申し込むか、不動産屋で探してもらうのがいいでしょう。

住居の購入

外国人でも土地の購入は可能だが、原則として1年以内に家を建てなければならない。また FIRB(外資審議会)の認可を受けた建物や、リゾート指定を受けた物件を購入することは認められている。

永住権のある人はオーストラリア人同様、土地や家を自由に買うことができる。リタイアメントビザの所持者はある程度の制限はあるが、中古の家やコンドミニアムを購入することが認められている。ただし購入は1軒だけ。海のそばには空き地が少なく、土地を買って建てるより、条件の良い中古の方が高い満足を得ることができるかもしれない。

土地や家の売り物件が多いこと、民族性の違いなどからオーストラリアの人は買い替えに抵抗感があまりない。オーストラリアでは1年以上住むと、家の売却による差益に税金はからない。器用な人は安く買い、自分で改築して高く売る。なまじ外で働くより良い収入となるそうだ。そんなわけで売り物件は沢山ある。

バブル最盛期の頃、ゴールドコーストで日本人が不動産の値をつり上げたと言われ、日本人を非難するデモまであった。高く売りつけたのは誰だ！と言いたいが、2倍の価格でも現

地の事情を知らず買った日本人に責任がないとは言えない。信用ある弁護士事務所などに依頼して土地の鑑定をすれば適性な値で買ったものを、バブル景気に浮かれ、冷静さを欠き、高過ぎる買い物をした人の多いこと！

不動産の買い方

かつて言い値に近い価格で買っていた日本人のイメージがあるのか、日本人と見ると高い値を提示する売り手や不動産セールスマンもいる。

不動産屋の店頭に売り物件が価格付で掲載されているので、場所を聞いて自分で確かめに行くといいだろう。住宅地には売りに出ている家も多いので、地域の相場を頭に入れた上で歩くと比較判断ができる。その他新聞広告や不動産情報誌を読むと、より情報源が広がる。判断に迷う時や英語に自信のない場合は、信用のおける地元の人や通訳に手助けしてもらうのも失敗しない方法だ。セールスマンの案内などで、できるだけ多くの物件を見て目を肥やすことにより、良い家や悪い家、町並みの良し悪し、高い安いなどの判断できるようになるだろう。

価格や環境など気に入った物件があったら、価格交渉に入る。相手が日本人とわかると相場以上の値を提示する輩も多いので、あらかじめその周辺の相場などをよく把握しておくことが大切。色々とテクニックを駆使して値引き交渉すると良い結果が得られることもある。

- 値の交渉はセールスマンを通し売り手に自分の希望価格を伝える。
- 何回かのやり取りで合意したらお互いの弁護士によって契約書を作成する。
- 弁護士(オーストラリアではソリスターという)は依頼人の利益を代表してくれることでなければならない。
- 弁護士の選任は現地の人に相談するか、情報誌の広告を利用するかして、あらかじめ決めておくとよい。
- 不動産屋が薦める弁護士もいるが、紐付きでない方がいい

弁護士も色々あるので信用のおける良い弁護士を選ぶのは重要なことである。契約書は一般的の不動産取引用の市販契約書を使用しているが、FIRB(外資審議会)の許可や日本からの送金に時間がかかるなどの事情をよく考慮した上で、契約書に特記事項を書き入れる必要がある。できれば日本人の要望に慣れた弁護士がベストでしょう。日本語でも細かい字でびっしり書かれた契約書を読むのは大変なことだが、いわんや英文では理解が困難である。日本人のいる弁護士事務所もあるが、そうでない場合はプロの通訳を同行し、自分の都合や意志をはっきり伝え、契約書に反映させが必要。通訳も信用でき優秀な人を選ぶこと。悪徳セールスマン、悪徳弁護士のみならず、悪徳通訳もどこの国にもいる。不当な値段で買わされたり、お金を騙しとられたり、契約がしっかりしていなかつたり、そのため訴訟になった事例はいくつもある。盲判を押してあとで泣きを見ないように通訳、弁護士は信用できる人を選ばなければいけない。

家や土地など、買えば日本では当然権利書を取って自分で保管するが、オーストラリアでは役所に登記保管され、オーナーはコピーを持つ。

家や土地を買う場合、売主との契約書の作成は弁護士の仕事だが、土地や家の調査、市条例の規制確認などには弁護士以外の専門家もいる。外観は良くても内部の木がシロアリでボロボ

口になっているケースも少なくない。年一回のシロアリ検査は義務づけられているが、守られているとは限らない。買う前に必ず検査すべきである。

弁護士費用は 0.6%前後、弁護士にあらかじめ確認しておくこと。その他調査費、印紙税は別に支払う。住居には上下水道代、ゴミ代金が含まれる。土地税は 20 万 A \$ 以上の土地に 20 万 \$ を超えた金額に対してかけられる。

ゴールドコーストで家を建てるならば、売る時に売り易いよう、現地に合った家を建てる方が良い。日本式に畳の部屋を作ったり、細々と間仕切ったりすると、売る時になかなか思った値で売れない。一般的な住宅地に豪勢な家を建てたり、高級住宅地に並みの家を作ったりする場合も同様です。

大抵の日本人は一生売らないというが、永年住めばもっと良い所や自分に合った所が欲しくなるかもしれない。また経済事情の変化により、売ることを余儀なくされることもあり得る。リタイアビザの場合、家を二軒持つことができないので、先ずは売り易い家、値段、場所を考慮して買ったり建てたりすることが大切です。

土地が手に入り、家を建てる時は建築会社やビルダーに直接依頼せず、先ずは地元の設計士に相談する方がよい。弁護士の選任と同様に、依頼主の利益を代表してくれる人を選ぶこと。予算と特別な希望があれば、それが売る時の障害にならないか、追加工事が発生しないか、よく相談した方がいい。追加工事は高くつく。

気候温暖な土地なので家の向きは日本ほどこだわらなくても良いが、できることなら家は北、または北東向きがいい(日本と反対)。

冬は、南向きと北向きでは半袖と長袖ほどの違いがある。

ウォーターフロントならカナールが北、または東北にあるところを選べば夏涼しく冬暖かくなる。一口にウォーターフロントと言っても色々あり、海に出られるカナール、湖のように海に出られないカナール、水門を通らなければ海に出られないカナールなどがある。

海水と真水の混ざった所にはミジ(小さなブヨ)が多い。ミジはサンドライトともいい、噛まれると長い間痒く、赤いボツボツになる。免疫ができると痒みも赤いボツボツも短時間で治る。しかし折角ウォーターフロントに住んでも朝夕ミジの攻勢に遭ったのでは、庭やベランダでのバーベキューや一杯の楽しみが半減するでしょう。ミジのいない、または少ないカナールが望ましいと言える。

家が完成したら

家が完成したら家具や電化製品が必要。これらの店は数多くあり、高級品から一般品まで一店舗ですべて揃えることができる。高級品やアンティークなどを揃える時は 1 ~ 2 年がかりでじっくり見て回るのも楽しみだ。電化製品は東南アジア、韓国、中国製がほとんどで、日本直輸入品は価格が高いのが難点。

家が完成したら関係者や近隣の方を招待し、ハウスウォーミングパーティーを開こう。近所の人と顔なじみになると、なにかと分からぬ時相談にのってもらえる。かつて自豪主義の時代もあり、懸念を持っていたが、少なくとも表面的には蔑視や差別的な態度は少しも感じられない。いたってフレンドリーな国民である。大抵のオーストラリア人は日本との文化の違いを

認識しているので日本流を押し通しても問題ない。むしろ日本の方が東と西、南と北の文化の違い、風習の違いがあり、よそ者が入りづらい、受け入れられない地方がある。その点オーストラリアは他民族国家、よそ者同士の寄り合い所帯のようなもので、日本の田舎に行くよりも気楽に住める。地域社会に縛られず自分の生き方ができる、それでいて無愛想ではない、表では見知らぬ人でも挨拶してくる。そんな時はたとえ片言の英語でも話してみよう。

家を借りる場合

家を買えば最低 2000 万円くらいするし、年間経費(メンテナンス、固定資産税、電気水道、共益費)は 1 万 A \$ くらいかかる。そこまでお金を掛けたくなければ、家やアパートを借りることだ。場所、広さ、設備などにより家賃はまちまち。

1 DK で家具付きのアパートは、100 A \$ / 週くらいから。

2 DK でも 120 A \$ / 週くらいからある。

月に 400~500 A \$ 、日本円にして 3 万~5 万円。普通家を借りる場合、水道代などは家主持ち。食費を 2 人で 500 A \$ としても合計月に 1000 A \$ 、7 万円程度で、年金の範囲内で充分やっていける計算。

もし金利が今のまま推移するとしたならば、家を建てたつもりで 2000 万円預金すれば年間 100 万円くらい利子が付く。利子に対する税金は 10%。見栄を張らなければ世界的なリゾート地で十分生活できる。

リタイアビザを取るには、約 5000 万円の資金が必要なので、上記計画は観光ビザで来豪し 3~6 ヶ月暮らすケースである。長期借家は 6 ヶ月単位だが半年空けておいても安上がりだと思いませんか？ 友人と半年ごとシェアする手もある。

税金は？

オーストラリアのクイーンズランド州には相続税や贈与税はないが、20 万 A \$ 以上の土地には 20 万 A \$ を越えた分に対してランドタックス(土地税、州税)がかかる。その他市税(General rate)として土地の評価額に対する固定資産税、上下水道代、ゴミ収集代などがかかる。

永住ビザ、リタイアビザに係らず住民登録はなく、自治会もない、しかし間違なく州税、市税、公共料金の請求書は送られてくる。

お金について

土地や家を買うには日本から資金を持参するか送金しなければならない。大金になるので換金の方法によってはかなりの差が出るゴールドコーストには両替店が多数あり、銀行も含めレートや手数料が異なる。送金も日本円で送るか、A \$ か、トラベラーズチェックか銀行小切手か等、為替相場を睨みながらタイミングと方法をよく検討する必要がある。

観光ビザやリタイアビザの場合、オーストラリアで働いて収入を得てはいけない。生活費は日本からの年金や収入を送金、または持参するしかない。為替相場を見ながらオーストラリアの銀行に日本円を振り込むのが今のところ有利な方法だろう。

オーストラリアの銀行の利子は、上下はあるものの、ここ 10 年以上日本とは比べものにならない。金利で生活できる人、金利プラス年金で豪華な暮らしができる人もいるだろう。日

本では得がたい生活である。ただ為替は常に変化するので、円安のときの対策もよく考えた計画にする必要がある。

日本にある全財産をオーストラリアに移してしまうのは不安である。為替相場の変動を的確に読むことは専門家でも難しい。13年前 1 A \$ = 110 円だったが今(2001年)は 60 円前後。50%近くも円高になっている。13 年前オーストラリアに財産を移した人が今、日本に再び戻したら、財産が半分になってしまう訳である。円高の時に A \$ に換えて円安のときに円に戻したら資産を増やせる理屈だが、世の中そうはうまくいかない。

車について

ゴールドコーストで暮らすには車は必需品。短期滞在ならレンタカーが便利で、長期契約 3 ~ 6 ヶ月なら通常より安く借りられる。クイーンズランド州では車検制度はない。車を買うか借りるかは、強制および任意保険、税金、償却費、便利性などを検討した上で決める。

交通法規は日本とほぼ同じ。市街地はランドアバウト(ロータリー)が多く、スピードが日本と比べて速い。左折右折の専用レーンや信号が多いので馴れれば日本より運転し易いが、事故も多く慎重を要する。

車社会オーストラリアでは日本と比べ、免許証は取り易い。ペーパーテストに合格すると、助手席に免許を持った人が居ればいきなり路上練習ができる。練習はプロのインストラクターにつくのが良い。インストラクターの車で練習し、同じ車で試験を受けられるからだ。受かったら初心者の E P ライセンスが交付され、P というプレートをつけて一人で運転できる。その後本免許への切替になる。

道は広くて運転し易いが事故も多いので、自分の車でもレンタカーでもフルカバーの保険に入るべきだろう。

車の値段は新車でも中古でも日本より高価だ。オーストラリアで製造される車は主要な部品がすべて輸入の米国車や日本車である。車検制度がないので、日本では見かけないような年季の入った車も走っている。最近は見るに見かねるようなポンコツ車は警官から廃車を勧告されることのこと。

家を買うときと同じく、車を買うときは慎重に交渉すること。日本のような付属品は付いていない。ジャッキとタイヤ交換器具だけである。値引き交渉もハードなので、現地の人には頼んだ方が、多少手数料を払っても安いかもしれない。

ガソリンはほとんどがセルフサービス。オーストラリアのスタンドはコンビニでもあり、食料品も売っているので店員も忙しく、ガソリン注入はやってくれない。有鉛、無鉛、ディーゼル、プロパンなどの種類があるので間違わないように。注入口のキャップや注入口に燃料の種類が書いてあるので、指定の燃料をいれる。そのポンプの番号をカウンターに告げれば料金が精算される。ちなみに当地ではガソリンスタンドとは言わず、ペトロステーションと呼ぶ。

余暇の過ごし方

スポーツレジャー大国オーストラリア。ゴルフ、テニス、釣り、ボート、サーフィン、スキーバダイビングなどが手軽で、しかも安い。各地区にはスポーツ施設が整い、地域のチームがサッカー、ラグビー、クリケットの試合をしている。テレビでもそれらの番組に人気

がある。ちなみにオーストラリア国営放送は無料で、衛星、有線放送は有料。

自宅の庭にテニスコートを作っている人も結構いる。

ゴルフ場はゴールドコーストだけでも 40 のコースがあり、どこにいても 10 分あればゴルフ場に行ける。プレー費も 1 ラウンド 20\$ ~ 90\$。一人で回っていると、2~3 人で回っている前の組の人達から一緒にやろうと誘われたりする。オーストラリアにもゴルフのルール、マナーがあり、守らないと注意される。その人とは二度と回りたくないと言われないように、上手下手は別として、ルール、マナーの知識を持たずにコースに出ることだけは避けたいものだ。

ウォーターフロントの家は庭で釣りができる。キス、黒ダイ、コチ、ボラ、サヨリ、蟹など季節によって多少の差はあるが、年中釣れる。ビーチや磯では大物が、桟橋でも小物から大物まで、特に冬(6~10 月)はアジの大漁に出くわす。ゴールドコーストは南の魚と北の魚が重なるところと言われ、魚種も豊富である。餌は海浜の砂いそめ、はまぐり、川でエビのようなヤビなど自分で採ることができるが、大抵のガソリンスタンドで餌を買い求めることもできる。大物狙いのときはイワシやイカを買って行く。

いくら観光地といつても長期滞在すれば遊んでばかりもいられないかもしれません。オーストラリアにも日本の公民館のようなコミュニティーセンターがあり、趣味や健康作りの教室がある。専門技術を学びたい人は TAFE カレッジ(職業訓練校)に、英語を習いたい人は AMEP(移民者用の英会話スクール)に行く。異文化に接し、多くの友人もでき、各種情報を得ることもできるだろう。

一生懸命働いてきた今までの生活。ロクにレジャーとか趣味などを楽しむ暇など無かつた人。第二の人生として日本より安く楽しく過ごせれば、より有意義な人生が送れるという見方もあるでしょう。熟考検討の価値があると思います。

メーリングリスト・ミニ情報

今 オーストラリア ゴールドコーストにきています、
こちらは真夏です、しかし、風邪もあり、湿気もなく、非常に快適すごしやすいです。
皆さんに一つ情報を伝えします。

オーストラリアの入国審査ですが非常に厳しいです、これもテロからなのでしょうか……
自分の荷物を受けとり、いざ 出る段階になってから、X線検査をします、それから荷物の中身により、食べ物等があると別の窓口、なければ別の窓口に分かれます。私はお土産に食べものを持ち込んでいたのですが混んでいたので食べ物のないほうの列に並びました、ところが並んでいた前の客は荷物を全部開けられて、ピーナツの袋菓子を発見され、さらに申告と違つており、こっぴどく怒られました。これはまずい、困った、列を離れようかと思いましたが、もう 間に合わず 小生、あきらめてまな板の鯉、荷物を開ける用意をしたところ なぜか申告用紙がない、確か X線検査のときおじさんに渡したのですが帰ってこない。
何処へいったのと 日本語でわめいていたら係官がめんどくさくなり、OK OK で無事通過でした、こんなことありでしょうか、救うものは救われ、救われない前のお客さんはかわいそうでした、ハイ オーストラリアに入国の場合はくれぐれも
お気をつけ下さい。 オーストラリア 入国情報でした。

101 高沢さん

春城雲南での L.S.について

マニラ市クラーク在住 賛助会員 田野瀬 博太郎

私達会員の主目的である「南国之地で第2の人生を」という意味からは少しそれるかもしれません、一つ L.S. で提案があります。それはトロピカルからちょっと北の高地、中国の常春の地・雲南省のことです。春城雲南の可能性を感じたまま報告します。

まず物価は南国の国々より安く、品物の豊かさではしば抜けています。そして何より日本人に馴染みのある品が回りに溢れているということです。そういう意味では生活に何一つ不自由を感じません。

気候ですが常春といつても四季はあります。雲南省の中間点より少しだけ北寄りにある大理城（海拔 2000m）を例にしますと、12月、1月の最低気温は 1°C ~ 5°C 位までは下がるようです。現地の人々は最高の季節は 4月、5月と言います。6月~8月はやはりモンスーンの影響をうけ結構雨が降ることですが、気温はさほど上がらないそうです。

滞在 VISA ですが、3ヶ月間~6ヶ月間の滞在なら途中現地で VISA を延長して問題なく暮らせそうです。中国 VISA の取得は香港が一番簡単に得ることができ、また費用的にも安くできます。

日本からのアクセスは昆明に直行便（JAS）があります。KE もソウル—昆明間の直行便があり、香港経由でも入れますし、バンコック、チェンマイからも乗り入れています。また中国に入れば、昆明へはどの都市からもフライトそれに列車もあります。

私が大都市・昆明市（人口 200 万人以上）で長期生活を目的とした費用等を調べました。市内中心より市内バスで 15 分~20 分位の新興住宅地での調査です。

- ◇ 新築集合住宅、家具付き 3LDK (110 m²) —— 1,500 元／月 【* 24,000 円】
- ◇ 光熱費（電気、水道、ガス）—————— 400 元／月 【* 6,400 円】
- ◇ 食料費（2人自炊）—————— 500 元／月 【* 8,000 円】

と普通の基本的生活費は 2 人で約 2,500 元／月 【* 40,000 円】です。

（*ただし、ゴルフは高く 18H プレーで US\$100~US\$130 します）

国際空港がある省都・昆明でこの程度だからムード溢れる古都・大理古城ならもう少し安く暮らせそうです。

私は雲南省を少し廻ってみて L.S. の地なら第1に大理古城、第2に麗江と感じました。一番感激した点は、それは見事と形容できる程の高原野菜の豊かさです。それに温泉も近くにあります。雲南は薬草や雲南杉、桧、松など植生豊かな地ですが、野菜も立派に育ち、青空市場で売られているキノコ類、豆類、果物、豆腐、肉、もやし類等多彩な食品を見て元気が出ます。ちなみに滞在中によく食べたワラビ（山菜）が 1kg 1.5 元です。

そして9月になれば松茸が豊かに出回るそうです。東南アジアの少しひなびて硬そうな野菜とは格が違います。

大理古城は昆明よりバスで6時間程の距離で北西に位置しています。市の西側は4,000m級の連峰が続き、東側は南北40km程の湖泪海に面した山々と湖に挟まれた美しい地です。市の周辺は牧歌的な農地が広がり、田園の中に点々と少数民族、白族の部落があります。田園地帯や白族部落を散歩するには絶好の地です。疲れたら村から村への交通機関であるシャンシャンと鈴を鳴らす乗合馬車（1元=＊16円）があるので、それに乗って帰るという手もあります。

古城市内には、日本食堂(3~4店)始めイタリア、韓国、白族、回族、漢族、台灣料理店等すべて揃っており、いずれも10元【＊160円】程度の価格です。私は特に白族レストランで、店内に10数種類の高原野菜やキノコがそれぞれカゴに盛って並べられていた中から食べたいと思った4種類を選んで、それを炒めてもらった野菜炒め(4元=＊64円)が特に気に入り、雲南梅酒とで旅の疲れを癒しました。

大理古城内にある白族独特の家を招待所(簡易ホテル)にした所で長期滞在の費用を聞いたところ、2人1室、食事無しで1ヶ月200~300元【＊3,200円~4,800円】／1人、食事(朝、昼、夕)いずれか1食込みだと1ヶ月400~500元【＊6,400円~8,000円】／1人、との事でした。

南の国々は12月～3月頃まではそれは素晴らしい天候に恵まれ暮らしやすい所ですが、4月～5月は猛暑に見舞われ暮らしやすいとは言い難い暑さになります。また、6月頃より雨期が始まり、7月、8月、9月の湿気は不健康そのものです。

暮らしやすい季節は南国で、不健康的な時季になれば常春の地・雲南で、長寿のため又健康保持のためにも高原野菜をもりもり食べ、歴史を感じながら一時期暮らすのも1つのオプションかと感じた次第です。知恵ある鳥はより過ごしやすい環境を求めて国境を越え、渡つていきます。

旅の途中、ベトナムのホイアンで南の会の平沢女史と偶然にも出逢いました。女史もお気に入りの地を求めて南の国々を長期に亘り旅をしている途中でした。女史の探求の成果、ご意見をお聞きしたいものです。

* 1元 = 16円 (14年3月初旬レート)

* 文中の円換算価格は編集部で計算致しました。

チェンマイ体験記

岐阜県在住 会員N o. 94 高橋 昭

シートベルトのサインが出て、駐機場を離れランプウェーに移動していたが突然停止、不審に思っていると電気系統の故障で点検中と言う機内放送。

嫌な予感が掠めるが、やがてこれは的中する事になりました、40分遅れてのティクオフ、従って当然バンコクには40分遅れて到着、駐機場はもう使えないでランプウェーでバスに乗り換え、急かされながらチェンマイ行きのゲートへ。ここで又セキュリティチェック、またまた駆け足でバスへ。ランプウェーに待機するA300機に乗り込んでほっと一息。

おしほり、飲み物と矢継ぎ早に出てきて隣席の女性は両手に持ったままトレイが開けないので私が手を貸したのがきっかけとなって言葉を交わす事になりました。

彼女の話によると、といつても中国語しか話せないので会話は全て漢字による筆談ですが、それによればもと日系IT企業の工員で、現在は台湾企業でコンピュータ用のモニターを作る会社で指導員をしているとの事、これからチェンマイにある工場に指導に行くとの事でした。

台湾でさえも空洞化が始まっているようでは、日本ではもう物作りは出来ないのかもしれないと思うと寂しい気持になりました。

入国審査を済ませて荷物を待ったが出てこない、一便待てばとの係員の言葉で待つがやはり

出てこない。今夜の宿チェンマイプラザを伝え
て届けてもらう事にして当座のバーツを両替し、

空港タクシーのチケット120バーツを買う。

外気は正に秋の夜風といった感じ、周囲の人たちも日本人と大差なく何か全く違和感がない。
外の景色だって何十年か前の日本そのもの。

投宿したのは前述のチェンマイプラザ。HISでのチケット購入は1泊3,600円、ナイトバルザールに近いが周囲は比較的静かでお勧めです。

翌日チェンマイ在住の鈴木さんに無事到着の電話を済ませて街の探検、ホテルの前の道路でソンテウを止めて行き先を告げると、いかにも考えているふうにしてから指を二本立てる、20バーツと言う事ですがここは一番拒否、で行ってしまった。2,3台試みたのですがやはり駄目で、諦めて20バーツで手を打つ事にしました。

その後、ホテルの近くは明らかに足元を見られるのでバックパッカーの定宿であるゲストハウスや寺院の近くから乗り下りする事にしました。これだと10バーツで乗る事が出来るようになりましたが、夜間は20バーツで手を打たないと駄目でした。その後更に度胸がついてきたので、さっとドアを開けて助手席に乗り込んで、さも何年も住んでいるように振舞うこともしてみました。

一つ注意する事は、数台止めても首を縦に振らないときは道の反対側に渡って止めるとOKになる事が多いようです。

もう一つツクツクと言うのがありますが一度だけ利用しました。例のキッチンハウスというお刺身ランチを食べに行った帰りソンテウが捉まらなくて乗りましたが40バーツ。高いのか安いのか判りませんが小回りがきくぶんラッシュ時には有効かもしれません。



チェンマイプラザの窗外

そのキッチンハウスのお刺身定食ですがAとBがあります、最初高いほうの100バーツと言うのを食べました。以前ペナンの木村さんがメーリングに書いておられたように新鮮な刺身にカツが二切れ、酢の物に漬物、これを見たらやはりビールが必要になります。最後にアイスクリームまで付いてきました。

ところが数日後今度は85バーツのBランチを注文したところ全く同じ物が出てくるのです、ああ間違えて出してきたのかな、それともアイスクリームが無いのかも知れないと思っていましたが結果は全て同じで85バーツ、一体何が違うのか今も悩んでいます。

数日後鈴木さんの紹介でパシフィックマンションというところに転居しました。1ヶ月5,800バーツで電気、水道、電話料は別途というものの。バスタブが付いてセントラルデパート、最新設備の巨大なチェンマイラム病院、タンニン市場(東南アジアでは珍しくきれいで明るい、品揃えも豊富)にも近いのでお勧めです。ただし西に面した部屋は、眺めは良いのですが前を走る車の騒音と排ガス、それに西日が少々気になります。



パシフィックマンションの窗外

24時間ガードマンが警備していますのでセキュリティ面では心配ありません。時々このガードマンと、買ってきた菓子やとうもろこしと一緒に食べたりして、すっかり仲良しになりました。

セントラルデパートの地下には食料品や日用品のスーパーがあって重宝しました。蚊取り線香や虫よけガードもここで購入する事が出来ます。ここには英語の出来る店員さんがいて外国人の対応に当たってくれます。1階からはデパートとテナントのエリアに別れ最上階には映画館、アイススケート場まであります。

この他にも郊外のハイウェー沿いにヨーロッパスタイルのスーパーがあるとの事でしたが、必要を感じなかった事と近くのタンニン市場が安くて新鮮なので、一度も行く事はありませんでした。

不動産に関してはこの他に350バーツ/日、または3,500バーツ/月というバスタブの無いものから7,500バーツ/月(3ヶ月以上)バスタブ、キッチンが付きというものまでこの付近にあります、ただどの物件も排水がお世辞にも良いとはいえないようです。

ピン川の東岸に高層のコンドミニアムがあります、調査の対象にしていませんでしたが部屋は多様で10,000バーツから30,000バーツ位ではないか、という曖昧な情報しか得られませんでした。

チェンマイという街は1.5キロ四方の濠と城壁に囲まれた旧市街と周囲に広がる新市街から出来ていて、ソンテウの10バーツの範囲はその外周約1キロ程度ではないかと思います。

濠をはさんで内回り、外回りの一方通行の道路が走っていますが、何処にも信号がありませんから、この道路を渡って旧市街に入るには大変なスリルを味わう事になります。車と車の間をおよぐようにして渡るのですが、まさに身の縮む思いがします。少し慣れてくると周囲の誰か渡る人を探し、一緒に渡るのが安心です。

毎週水曜日の午後6時からチャンプワック・ホテルで「もういい会」という長期滞在者の情報交換の集まりがあります。タイバンクの横の道を入って突き当たりを折れて更に入つてゆくとレストランが有り、一列にテーブルを並べて人々の来るのを待っています。

ここには在住30年以上でチェンマイの生き字引のような人から旅行者まで多種多様な人が集まっています。ですから何か聞きたいことがあれば必ず誰かが親切にこたえてくれます。ここでは自分の支払いは自分でするのが鉄則ですから、たとえ女性でも例外ではありません。

ここで一つ残念な事に、パシフィックマンション在住者の話を紹介しなければなりません。決して悪意があるってことではないと思いますが、Mさん宛のFAXですが彼は自分のFAXを持っている訳ではないので料金として20バーツが徴収されるのです。送信する側は電話に比べ電話料金が安く用件が的確に伝えられて良いのかもしれません受信する側は一枚ごとに20バーツの出費が必要になります、善意とはいえ毎回20バーツというのは決して愉快なものではありませんね。チェンマイでの20バーツというのは昼食の一食分になります、会報にも一部注意を促していますが、こうした特殊事情を考慮の上行動されるようお願いしたいものです。

チェンマイのインターネット事情は東南アジアとしてはまあまあといったところでしょうか。私はネットカフェを利用しましたが1時間20バーツ10分単位で計算してくれます。中には15バーツというところもありますがパソコンが古く全てに動作が遅いので経済的とはいえない。また日本語可も結構多いと思います。

私はゴルフが出来ず、この方面の情報は全く持ち合わせていませんのでどなたか詳しい方がおられましたら発表して頂きたいと思います。

私がチェンマイを訪れた目的の一つに少数民族の村を訪ねる事がありました。それも民族衣装で飾り立て、写真をとるたびに金を要求されるような観光地ではなく、ありのままの生活に触れられるようなところを希望していましたので、ブーのエコトレという大変ユニークなトレッキングに参加しました。

このツアーは上智大を卒業してチェンマイに在住するレミという日本人女性と、結婚相手のブーが運営しているものです、非常に高額ですが少人数に限定し、観光色を廃してそのままの生活に触れる事ができるというものです、ですからその村にホームステイして寝起きを共にする真にユニークなツアーなのです。

通常、一般の人間は少数民族の村に許可無く入る事を厳しく制限されています。というのは村の子供を言葉巧みに騙して売春婦として連れ去る事件が後を絶たない事態に、タイ政府が厳しく対処すると同時にタイ語を含め初等教育に力を入れようとしているからです。しかしその実態は予算不足から充分な学用品も準備できないのが現状です。

チェンマイから108号線を南下しホットの町を経由してメイサリアンに向けて西進、メイホーソン郡に入り108号線から離れて山中に向います。

標高1,000メートル付近の稜線を進むこと1時間、ここからはリュックを担いでトレッキングとなります、約1時間半でポーカレン族、通称赤カレン族の村に到着します。

観光化されていないので村人は我々を見ると恥ずかしそうにこそこそと隠れてしまう、それ程俗化していない村なのです。衣裳も普段着そのまま、というかそれが民族衣装なのです。男性はもう民族衣装を身に付けなくなっていますが女性は未婚者が白地に赤の刺繡、既婚者は好みの色に染めた上に刺繡、頭にターバンのような被り物が決まりだそうです。冬季の朝晩は上



赤カレン族の村にて(左端筆者)

着をその上に羽織ります。

男女共に18歳になると成人として刺青を入れます、絵柄については判然としませんでしたが、多分一族の証しと、だれの息子、だれの娘と判るようなものらしいと言うことでした。チエンマイの町でも何人かの刺青を施した人を見かけました、タイでは一般的に行われていた、または行われているのかもしれません。

山の斜面に竹と木で高床式の骨格を作り床と壁は竹、屋根は大きな芭蕉のような葉を乾燥したものを使っています。建物の出入りははしごを使います。煮炊きは部屋の中央に土で固めた囲炉裏があって食事は男が先、男が終わってから女と子供という順序です。無論ゲストは女であっても男と一緒にですが。

村には数頭の白い牛と小ぶりの豚、それに鶏を飼っていますがゲスト用の食材を除いて村人は均等に分け合って助け合いながら生活しています。結婚は同族の別のグループとの間で行われ通常豚のような家畜が結納代わりになるようです。

この村にホームステイで一泊したあと村の外れにある小さな小さな小学校に行ってノートや鉛筆などの学用品を各自寄贈して村を後にします。その後一気に500メートル程山道を下って谷川に出ます。ここでは山刀以外一切の文明の利器を使わない生活をします、食器類は全て竹、もちろん米を炊くのも竹、肉類は谷川で取った魚、蛙、蛇、300年前日本の山村の暮らしに近い経験を再現しているようなものです。

私が最も意外に思ったことは一緒に参加した若い女の子たちがこうした環境にいとも簡単に順応した事です、今の若い男たちがこの体験に耐えられるのか、また評価できるのか大いに興味のあるところです。

チエンマイという所を総合的に評価するならば非常に違和感の無い、日本のちょうど50年前の再現といったところでしょうか。人々の顔も日本的であるし、今の日本のようにとげとげしさが無く、夜10時過ぎに女性が一人歩きしている姿を見るが何の問題も起きていない。クラクションを鳴らしても誰も怒鳴ったりしない。金融強盗も滞在中一度も聞かなかったし、それでいて物価が安く、何でも手に入る。ここにもし海があったなら即座に安住の地に決めてしまうでしょう。

残念ながらシーフードの好きな私にとってここが思案の分かれ目になるところです。ここを拠点にしてプーケットと行き来する、なんて贅沢な事も考えたりしている今日この頃です。

最後に鈴木さん、井沢さん、宮さん、それに水間さんには大変お世話になりました、本当に有難う御座いました、また出かけますのでその節は何卒よろしくお願ひします。



少数民族村の小学校

ロングステイ イン バンコク

東京都足立区在住 No. 189 五十嵐 輝雄

<バンコクアパート探し>

私達の二度目のバンコク行きは、テロ報復が毎日テレビで放映されている最中でした。

昨年 10 月 26 日(金)～11 月 23 日(金)まで、1 ヶ月近い滞在になりました。

最初は、雨期の 6 月下旬、一週間のパックツアーでほてると観光地の駆け足旅行でした。

喧騒の中にも、何故か郷愁を感じさせるタイの空気に触れ、この国なら我々でもロングステイ出来そうな気がする、秋にまた来て、もう少し永く滞在してみようと妻に約束していました。

冬の寒さがなく、物価も安く、食事も美味しいなどの理由もあります。

今回、バンコク滞在の一番の目的は長期滞在する住まい探しでした。バンコクには日本人向け日本語情報誌が数誌あり、物件を紹介する会社の広告が掲載されています。はじめは些か心配でしたが、「ナクポン法律事務所 帝国リサーチ」という会社に電話して、アパート探しの案内を依頼しました。案ずるより生むが易しと言いますが、まず行動しようと決め、妻と二人で住まい探しに専念しました。数軒アパートを紹介され、その中に少し狭いが家具付きの綺麗な物件があったので、契約して帰国しました。

12 月は、日本の雑用を済ませ、年明けのバンコク行きを楽しみにしていました。順を追って、拙いタイ・ロングステイ計画とバンコク生活を先輩諸氏に披露していきたいと思います。

紙面を汚すのも心苦しいのですが、ご笑読頂ければ幸いです。

<出発前に準備したこと>

1. タイ国政府観光庁(有楽町電気ビル南館 2 階)へ出向き情報の収集

2. タイ関連情報誌の購入

「タイ旅の雑学ノート」えもと 正記著 ダイヤモンド社発行 1,600 円

「海外で暮らす III」ビジネス社 1,200 円

「地球の歩き方 タイ」ダイヤモンド社 1,640 円

3. タイ王国年金ビザ(1 年有効)の取得 (目黒 タイ王国大使館申請)

資格要件…60 歳以上で年金月額 15 万円以上

申請時間…午前 9 時～11 時 30 分 受領時間…翌日午後 1 時 30 分～4 時 30 分

- 申請書 1 通…大使館備え付け、英文
- 写真(4 x 4.5) 2 枚…カラー・白黒どちらでも可
- パスポート(残存期間 6 ヶ月以上)
- 航空券または予約確認書…片道可
- 戸籍謄本(3 ヶ月以内のもの)…認証・翻訳不要
- 英文経歴書 1 通…大使館備え付け
- 英文身元保証書 1 通
- 保証人のパスポートのコピー 1 部
- 年金証書とそのコピー 1 部
- 申請料 9,000 円 *申請書・経歴書のサイン欄にはパスポートと同一のサイン

*身元保証書には保証人のパスポートと同一のサインと印が必要

*妻は観光ビザ取得(6 ヶ月有効)

<バンコク滞在>

1. 航空券の購入とホテルの予約

チケットはピーマン・バングラディッシュ航空…週1便、金曜日運行

ホテルはタイ歴20年のY氏とタイでオフィスビル経営のT氏に予約を依頼。

ホテルの名は「グランド・タワー・イン」。2人とも同ホテルの常連です。

ここはバンコクの大動脈BTS(スカイトレイン)スクムビット線のトンロー駅前にあり大変交通アクセスの良いホテルです。日本企業の駐在員も多く住んでいます。

10月26日、バンコクに着いた日は飛行機が1時間程遅れましたがY氏が迎えに来てくれていました。バンコク国際空港からトンローまでエアポートバス(トンロールート)を利用しました。料金は一人100バーツです。

ホテルの部屋は、朝食付き、NHKテレビが見られて、1泊二人で1,124バーツでした。ホテルの付帯設備は、レストラン、プール、ジム、サウナ、ジャグジー、マッサージルームがあります。それより「サワディー(カップ)カー」の挨拶で始まるスタッフの爽やかな笑顔、心温まる応対はまさに微笑みの国タイ、天使の都バンコクです。1ヶ月の滞在、本当に心地よく過ごす事ができました。

2. チケットの手配

行きは2週間FIXのため、日本で購入した帰りのチケットを破棄して、新たにバンコクからの1年オーブンチケットを手配しました。これより、今後はバンコク起点で行き来する事になります。格安チケットをあつかう「APEX」です。

バンコクで購入する方が日本で買うよりかなり安いので、奮発してビジネスクラスにしました。13,600バーツでした。日本で買うエコノミークラスより安いのです。「APEX」には、3人の日本人がカウンターを担当していて、親切に応対してくれます。なお、帰国する際、リコンファームを忘れないようにしないといけません。

3. アパート探し

いよいよアパート探しです。バンコク週報や日本人向け情報誌、ダコ、タイ自由ランド(ホテルや日系書店で無料配布)などに掲載されている広告がたよりです。

紹介を依頼した会社は前述の通りですが、最初に条件提示したことは、高級住宅街と言われている日本人の多く住むスクンビット地区、BTS駅のトンローかプロンポンエリアに、家賃は月額20,000バーツ以内、綺麗な部屋で家具付き、NHKテレビが受信できる事、という条件です。

数件見て回った中に2件、1ヶ所は2ベッドルーム70m²、コンパクトなモダンな造り、もう一方は2ベッドルーム120m²で重厚なヨーロピアンスタイル、ゆったりとしています。両方とも20,000バーツ、特に後者は25,000バーツの物件とのこと。契約条件は、契約期間6ヶ月、デポジット2ヶ月、当月契約でした。

困った。私達は1月中旬過ぎしか来る事が出来ない。3ヶ月の家賃を無駄にする勇気はありません。思案に暮れて、次に来た時にしようかと妻と話しているとき電話が入り、ナクポンのオフィスが入っているJCタワー15階の部屋が12月に空くという。今は若いスウェーデン人夫妻が住んでいて、部屋を見せてても良いと言うので早速出かけました。

綺麗な部屋で、スタジオタイプ、44m²、家具付き、テレビOK、東向きで明るい、月額家賃8,000バーツ、家賃も魅力。1月に来た時、前述の部屋が空いている保障はない。

この次もホテル住まいでは、いくら安いといつても滞在が長引けば不経済です。トンロー駅から少し離れていますが、交通の便が良いので、とりあえずこのスタジオタイプの部屋でバンコク生活をスタートさせ、ウォーミングアップして、長期滞在することに自信がついてからでも遅くはない。それから少し広いアパートを探がそうと、話しがきまり契約することにしました。

4. デパートでショッピング

さて、アパートは見つかりました。1月に行った時点から生活が始まります。食事は外で済ますことが出来ますが、生活必需品は最低限揃えておく必要があります。帰国の11月23日まであと3日と迫っていました。急きよ買い物です。

洗濯機・炊飯器・電子レンジ・トースター・ベッドシーツ・ブランケット・同カバー・ピロー・同カバーなどセントラルデパートで取り揃えました。デリバリーを依頼して、12月に部屋が空くまで、ナクポンのオフィスに預かってもらう事にしました。

<バンコク雑感>

1. ナクポンのこと

今回のアパート探し イン バンコクは、滞在期間1ヶ月でしたが、あっという間に過ぎてしまいました。ホテル住まいも快適。ナクポンも忙しい中、親身になって相談にのってくれ、言葉の不自由な私達に買い物を手伝ってくれたり、本当にお世話になりました。実はナクポン、正確には URUSA NAKPONG。日本語OK、2児の母、この会社のマネージングディレクター、つまり社長です。ご主人は元商社マン、日本人です。少し会社をコマーシャルします。

この会社は次のような業務内容で日本人をターゲットにしたものです。
信用・合併事業調査・会社設立・ワークパーミット・長期滞在ビザ・税務・投資相談・国際結婚手続き・翻訳(タイ・日・英・独)・民事・刑事訴訟等です。
アパート紹介は「EVERY AND ALL」という子会社が運営しています。

2. 趣味のこと

滞在中、ホテル近くに定年退職した日本人夫妻が経営しているレストランがあると、ナクポンのスタッフから聞き、帰国間際に食事に行きました。

そこのマスターと話しているうちに、海釣りの同好会があり活発に活動していると聞いて、早速入会することにしました。入会金などはありません。

月2回の開催、マイクロバスの送迎食事付き(朝食・昼食)、夜はそのレストランで釣った魚を肴に盛大な宴会、会費は2,000バーツ、女性は500バーツです。なんと安いことでしょう。二人で今から楽しみにしています。

3. バンコクの足

前述のBTS(Bangkok Mass Transit System)は開通して3年目を迎えるスカイトレイン、市内を移動するのに大変便利です。滞在中はフルに乗車しました。料金は距離制で10~40バーツ、切符はコインで購入します。

私達はBTSスカイカード(プリペイドカード)を利用しました。このカードには大きな特典があります。カードを購入するとBTS駅周辺を巡回するシャトルバスの無料チ

ケット(カード1枚につき30枚)がもらえるのです。二人で毎日のように利用しました。

それからもう一つ庶民の足、トンローバス(赤バス)というスクンビット55を往復するミニバス。3バーツの均一料金で乗り降りどこでも停車してくれます。

タクシーは初乗り35バーツ。帰国する際、ホテルから空港まで乗車しましたが、高速料金70バーツ込みで240バーツでした。都心からの距離は20km以上ありますから、交通機関の料金も日本に比べ本当に安いと思います。

4. 食事のこと

タイを語るとき、忘れてならないことは仏教美術や寺院建築もさることながら“食”的事ではないでしょうか。

タイ料理を紹介する旅の本では「百花繚乱」と形容するほどバライティーに富んでいるということです。和・洋・中は勿論、屋台から極上の王宮料理まで、食の宝庫と言われる所以でしょう。私達の食事は、朝食は和、洋、中、タイ料理を取り混ぜたバイキングをしつかり頂いて、昼食は軽く、夕食は外食と、エンポリアム百貨店のテイクオフで済ませました。安くて美味しい、文句なしの店を数ある中から2軒だけ紹介しておきます。

スクンビット・ソイ40の西安餃子宴(中華)とチョン・ノンシー駅(シーロム線)に近いスリウォン通りのソンプーン(シーフード)です。一品の料理の量が多く、ソンプーンでの食事は大人4人でビール大ビン2本、コーラ1本、料理5品、ご飯付きで1,300バーツでした。

日本の外食産業がデフレの影響でいくら値下げ競争してもタイの価格には到底勝てそうにないと思いました。主婦の方々で夫が定年になり、毎日の食事の献立に頭を悩ます人はタイでのロングステイをぜひお勧めします。タイでは屋台をはじめ、外で食べるこれが主流だからです。

今回のバンコク滞在はホテル住まいの1ヶ月でしたので多くを語ることは出来ませんが、次回からは地に足をつけてバンコク生活を楽しんでいこうと考えています。

3ヶ月の滞在タームでタイ国内の寺院や、古都の遺跡をゆっくりと訪ねて歩きたい。ゴルフや海釣り、さらに、隣国のカンボジア・ラオス・ベトナムなどにも行ってみたいと思っています。気に入ったバンコクで大きなトラブルがないことを祈りながら、1月からの生活をスタートさせたいと考えております。

生活状況の報告は次号に掲載させていただきます。

会員の皆様へ

新年号で(チェンマイ日本語教師ボランティア)前編を掲載し、春季号で引きつづき後編を掲載する予定でした。ところが、1月にチェンマイを再訪して以来現地の思いもよらぬ方々から日本語教師の仕事を依頼され、現在楽しく、また忙しい毎日を過ごしております。はじめは途中経過を掲載させていただこうかと思いましたが、大切な紙面を中途半端に終わらせたくないと考え、会報担当の小川役員へ事情をメールし延期を認めていただくことになりました。

つきましては、後編を次回号に延期させていただきますので事情ご推察のうえご容赦いただきますようお願ひいたします。

なお、取り敢えず5月初旬までチェンマイにおりますので、来チェンの折一度ご連絡下さい。住所はチェンマイパシフィックマンション308号室です。かの有名な水間さんの隣です。

3月9日 チェンマイより 会員NO 350 宮 博

2度目の避暑と避寒をフィリピンで体験

茨城県 会員No.98 加藤泰三・靖子

3日前の台風でわが借家はどうなっているか心配していましたが、来てみるとそれが平成13年7月6日に3ヶ月ぶりに3ヶ月のロングステイのため再訪比しました全く杞憂だったので一安心。

以前のローズプリンセスホームでは漏水で大変だった事を思うとき、ここサンタロサエステートに移って来て本当に良かったと実感しました。

こちらでは日中の気温が32℃～34℃位です。が、湿度が低いので日陰に入るとさほど暑くなく、日本の38℃という高温多湿の気候に比べれば本当に凌ぎ易い日々でした。

13年の春季号でこのサンタロサエステートには、近い将来ローズプリンセスホームの解約者が増えるのではと懸念していました。案の定4名の方々が移っていました。ローズプリンセスホームの一戸建は半数の9戸が又アパート式の方も約半数に近い6人が解約、夫々帰国又はタイ国やこのサンタロサに移って行きました。

3年前にローズプリンセスホームを見学した時は、食事、介護、対応等大変良く入居者も漸増していたのに、今は見る影も無い変わり様で、日本人スタッフは2人とも辞めてしまい、日本語のわかるのはオーナーのみという現状です。

もっと誠実に運営、対応していれば今頃は入居者で満室になっていたであろうとき（この様な施設はいずれ必要なものですが）、大変残念です。

今後この種の施設を利用しようと考えている方々は、私達の轍を踏まない様に十分検討される事を望んでいます。

さて年が改まり平成14年1月に避寒のため再訪比。訪比前は血圧H160、L100だったのが、滞在1週間後なんとH130、L80に下がっていたのには大変驚きました。この3月20の帰国するまで同じ数値でした。高齢者の私（78歳）にとって寒さは大敵と体験を通じて再認識した次第です。

この様に気候は大変良く快適そのもので申し分ない。が、ただ一つ私共にとって時間に余裕があり過ぎるので、どのように過ごすかが今後の課題です。

これからも避寒の好適地を探索する予定でおります。

尚外地で生活するには在住者のアドバイスやヘルプは限られているため、最低条件として多少の英会話又は現地語が話せる事が望ましいと思われます。

以上

トルコの旅

神奈川県在住 会員 No.280 小川 護雄

1月末から3週間、エジプトとトルコを訪れました。エジプトには約50Hrしか滞在していませんので実質上トルコ観光の旅でした。雑誌の「Abroad」で格安航空券を探していたところ1月中ならば5万円代でトルコを往復できることが分かり、エジプト込みで7万円代の航空券を購入しました。

成田発、ソウルで再び客を乗せ、イスタンブールに着いたのが20時。30分後飛行機に乗り継ぎカイロに着いた時は0時をまわっていました。真夜中なので心配でしたが銀行も開いており、タクシーもリムジンのカウンターが我々を手招きしながら待っていました。ピラミッドなど、ありきたりのコースを回って翌々日午前3時のフライト！イスタンブールには朝5時に到着しました。朝まで「どうしよう…」と思っていましたが、入国審査の手前に多くのベンチがあり、そこで数十人の旅行者がごろ寝したりトランプをしたり、思い思いの暇つぶしをしていました。真冬でしたが寒さもなく、何時に到着しても問題のないことが分かりました。

「BUS」と書かれた出口を出るとバスが待っていました。旧市街にホテルを求める場合は、このバスでアクサライまで行きます。アクサライには地下鉄とトラム（路面電車）がありますので大体どこにでも行けます。私はオリエント急行の終点であるシルケジにある「エルボイホテル」に一泊の予約をしておきましたので、シリケジ方面行きのトラムに乗り込みました。トラムはホームの外側に切符売場があり、500円(500万リラ)出したら435円のお釣りとジェトン(切符のコイン)をくれます。ホームの自動改札機にジェトンを入れ、回転式のバーを押してホームに入場するシステムです。たかがチンチン電車のくせに65円は少し高い気がしました。イスタンブール一番の観光地区はトラムのスルタンアハメッド駅近辺です。この辺を1時間位うろつけば、20人位のお兄さんから声をかけられるでしょう。彼らは大体みやげ売りか、絨毯を売る店の店員です。「チャイを飲んで行け、もちろん無料だ！」この紅茶が結局いくらにつくのでしょうか？でも彼らも100%商売だけではなく、日本人の友人を持ちたいという部分もあります。こちらが誠実な気持ちさえ持ていれば買わなくても全然問題ありません。



筆者（右から2人目）

トルコ国内旅行

- (1) トロイ チャナッカレ(イスタンブールからバスで6h位)を基点として観光する。ギリシャ時代にホメロスが約1000年前の伝説として「イリアスとオデュッセイ」を書き、シュリーマンがそのトロイ戦争を史実と信じて発掘したところ証拠となる品々が出てきた、という話是有名である。第一の城壁はホメロスによると「神が造った」と記されているが保存状態も良く整然と残っている。最も古い城壁は紀元前30Cのもので、それ以前は母系社会のため争いがなく、城壁の必要がなかったからだという。おそらく農業が始まり土地の争奪が起こったためだろう。ひとつの都市としては世界一長く続いた都市で、ギリシャ文明、ローマ帝国もトロイなしには語れないとのこと。エジプトと異なりみやげ売りもおらず、素朴な観光地である。必見の地としてお勧め。
- (2) エフェソス セルチュク(チャナッカレからバスで7.5h位)のすぐそばのローマ時代遺跡。

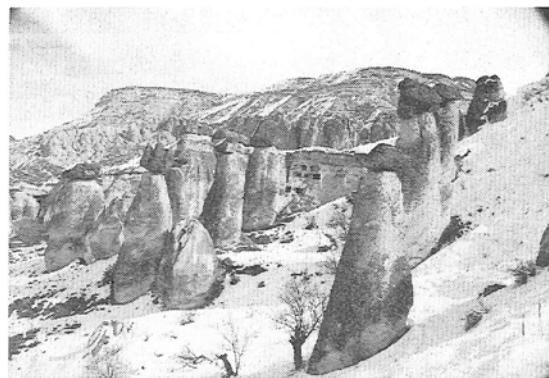
イオニア式、コリント式列柱の装飾、神々のレリーフ、下水設備ならびに雨水を集める用水路、落差を利用した噴水、冬場温湯で便座を温めた公衆トイレ。なによりその規模の大きさ、それでもまだ 90%が未発掘というのが驚き。「アルテミス神殿」は世界の七不思議のひとつだが、80mの柱が列をなして神殿の屋根を支えていた、という話から想像すると「壮大な建物だったろう」と感じられる。1本だけ 40m の柱が立っており、それでも結構高い。80m というのは建築物として無理がある、というのが私の感想である。近くにキリストの母マリアが没した場所があり、教会が建てられている。マリア没後 100 年ほどで建造されたとのこと、史実だろうと思います。教会は再建されていますが、土台部分はオリジナルです。

(3) プリエネ、ミレトス、ディディア クシャダス(セルチュクから車で 20 分)を基点として観光する。プリエネはエフェソスより古く、ギリシャ時代の都市。アポロン神殿が素晴らしい。彫刻された柱の折れた塊がゴロゴロ転っている。ミレトスは大きな劇場とそれに続くトンネル通路が見所。ディディアは保存良く建物が残っており、古色蒼然とした雰囲気があり、「つわものどもが夢のあと」という想いに誘われる。大理石の床にはキリスト教の模様が残り、歴史の重みと氣の遠くなるような永さに陶然とさせられる。



エフェソス

(3) カッパドキア ご存知「しめじのような岩」が林立する奇観の地。私はセルチュクから夜行バスで移動した。キリスト教徒が逃げ込むにはうつつけの地形で、石灰石の岩山の下に何層にも亘る町ができておらず、1500 年前の教会および壁画が美しく残っている。チャウシンの教会も見事だが、ギョレメの暗闇教会が必見。追加で 700 円必要になるが、100 年前の壁画が完璧に残っている。パシヤバ一地区に例の太い「しめじ」がぞろぞろ立っている。地球上の景観とは思えないほどである。冬にトルコを訪れる人は靴底が滑らないよう工夫してください。積雪のため怪我をする恐れがあります。



カッパドキア

(5) サフランボル カッパドキアを朝 9:00 に出発アンカラに 14:20 着。14:00 発のバスに間に合わず、17:30 発のバスに乗り 20:30 頃サフランボルに到着した。サフランボルは、その特異な歴史的建築物が町並みとして残る美しい街で、世界遺産に登録されている。トルコで出会った他の旅行者から「サフランボルの人は素朴で親切だ」と聞いていたがそのとおりであった。何人かの老人から「ジャポン?」と握手を求められ、子供たちからは「ウェルカム! ハロー!」と声をかけられ、ほのぼのとした 3 日間を過ごすことができた。隅から隅まで歩き回るのに丸 2 日かかる。クランキヨイとの間に深い渓谷があり、そこは実に美しい散歩道である。クランキヨイには「ジャポンバザール」というスーパー・マーケットがある。画かれているマークはどう見ても中国人。日本製品をメインに陳列しています…と言いたいのだろうが日本製は極少数。我々が安いお土産を買うのに最適の店と思われる。

(6) ヨリュック サフランボルから車で 30 分くらいの小さな村。サフランボルと同じような建物がそのまま現在の村を構成している。家の中はきれいに模様が描かれ、昔使用したであろう糸紡ぎ、石臼、などが今も使っているかのように置かれている。2~3h あれば全部見てまわれる。サフランボルからイスタンブールはバスで 6h。

(7) イスタンブール 私たち日本人が見て楽しいものを列挙すると次のとおりです。

- ①ブルーモスク 珍しく 6 本の尖塔を持つどっしりとした格調の高いモスク。ドームは巨大で内部の壁は青いイズニックタイルで飾られている。5回／日の礼拝時以外参拝可。無料
- ②アヤソフィア 6C のギリシャ正教寺院をモスクに改裝。ドームの高さ、大きさに圧倒される。キリスト教のモザイク画が見事。
- ③地下宮殿 ちょっと入り口が分かりにくい。6C の地下貯水池で、莊厳な不気味さを感じる。中にはいるとベートーベンの第九が BGM。柱の下部にメドウーサの頭部が彫刻されており、一層恐ろしい。中にカフェがあるがデーする雰囲気では……？
- ④トプカプ宮殿 オスマントルコの宮殿。ハレムもあるがガイド付きで別料金。
- ⑤スレイマン1世モスク群 大規模な美しいモスク。ボスポラス海峡からも凜と聳えて見え、夕方になると境内でバザールが始まる。
- ⑥ヴァレンス水道橋 ローマ時代の飲み水を運んだ水道橋。
- ⑦カリエジャーミー 城壁のそば、ビザンチン帝国時代の 11C に建造され、後モスクに改裝された。キリスト教のモザイク画とフレスコ画が素晴らしい。
- ⑧ガラタ塔 当時支配していたジェノヴァ人がビザンチン帝国との戦いに備え建造した。その後捕虜収容所、天文台などに使用された。
- ⑨ドルマバフチエ宮殿 トプカプ宮殿老朽化に伴い、オスマントルコ衰退の中、大金を使って建造した。
- ⑩考古学博物館 歴史的遺物に富む。ヒッタイトの石造物、アウグストゥスの胸像、アレクサンダーの石棺は特に印象的であった。
- ⑪グランドバザール 貴金属をはじめ皮製品、絨毯など。カラスミ、キャビアもある。
- ⑫ボスポラス海峡ツアープライベート 私のお勧め No.1。トラムの終点エミノニュの停車場前、「Milliyet」と書かれた 3 番船着場で船に乗り、ボスポラス海峡を北上する。終点のアナドルカワウで船を降り、丘の上に見える古城まで 20 分かけて登るとボスポラス海峡の北端とその向こうに広がる黒海が横たわってみえる。これは息を呑む景色である。船賃往復 300 円。10:35 エミノニュ出発、12:00 アナドルカワウ着。15:00 アナドルカナウ発、16:30 エミノニュ帰着。帰ってくる時はスレイマン1世のモスク群が夕日の中で霞んで見え、うっとりさせられる。

トルコの貨幣

トルコの案内書には物価がドル表示されていますが、お金の支払いはトルコリラです。空港、ホテル、銀行で両替できます。トルコは堅実な経済成長をしていますが、3年前の地震の影響もあり、70~100%のインフレ率です。昨年の同時期は 1 万リラ = 1.7 円でしたが、現在は 1 円です。よってこのレポートではすべて円表示としました。

100 万リラはたかが 100 円ですが、紙幣の桁を数

えるだけで大変です。硬貨はもっと馴染みにくく、昔発行された 50 万リラは日本の 500 円玉のように立派で重たいのですが、最近発行された 100 万リラは日本の 10 円玉と 1 円玉の中間的存在感です。まあ慣れれば一見して判別できるようになりますので、恐れる必要はありません。



ボスポラス海峡北端と黒海

トルコのホテル

高級ホテルはどんな未開発国に行っても日本と似たり寄ったりの価格ですが、中級もしくはそれ以下のホテルは廉価です。2000 から 3000 円もだせば充分立派な星級のホテルに泊れます。日本から旅行代理店を通して予約してもほぼ同価格なので、到着した日の 1 泊はそうしたほうがいいと思います。カッパドキアには洞窟ホテルもあり、サフランボルには伝統的な旧家を改装

しただけのホテルもありますので、お好みに依って選択されたらいいでしょう。大規模なお祭りとか特別ホテルをとりにくい時期でなければ、予約なしでもまず問題はないことです。ホテルの中にはアルコールを摂取する場所もあり、レストランも備わっています。ついでに言えば、トルコでは酒類が公然と認められており、イスラム教徒でも平気で飲みます。お勧めはトルコ産のコニャックで、美味しくて割安です。ホテル内のチップについては、初めから期待しているボーイもあり、私の場合はすべて25円で通しました。中には渡そうとしても受け取らない従業員もあり、全体的にモラルは高いと感じました。

トルコの食事

トルコといえばシシカバブです。しかしそれ以外の料理もとても美味しい、旅行中会った人々も口をそろえてトルコ料理は日本人に向いていると言っていました。ホテルのレストランもいいでしょうが、街中を歩くとガラスケースに色々な料理を並べた大衆食堂(俗にロカンタという)がいくらでもあります。だまされたと思って適当に指差してオーダーしてみてください。どれを食べても失望することはないでしょう。ただ豆を煮ただけの料理があります。でも食べた感じは豊かな味のダシ入りです。おそらく種類豊富な香辛料が組み合わされて入っているのでしょう。それぞれ抑え目の味で奥ゆかしささえ感じてしまいます。ヨーグルトはトルコの「ヨウルト」が語源です。ヨウルトをドレッシングなみにかけたり、和えたり、一緒に煮たり、実に豊かな味を楽しめます。「スープ」と注文すると、赤レンズ豆のスープが出ます。レモンを絞って入れると実に奥深い味わいがします。体が弱っているときいたわってくれるような優しい味です。ロカンタは注文しなくとも食べ放題のパンが出ます。スープにコーラ、そして色々食べても、500~600円といったところでしょう。田舎の方に行くともっと安くなります。デザートは甘すぎることが多く、あまりお勧めしません。

トルコの物価

家を買うならマンションで250~300万円、一戸建てで350~500万円。部屋を借りるなら、15000円から35000円/月。一戸建て3ベッドルームを借りるなら7~10万円見当。米はやや長い米で10Kg2000円。牛肉は500円/Kg。鶏肉は350円/Kg。牛乳は100円/L。肉は安いが、その他は東南アジア程安くはないようだ。不動産は外国人でも所有可能であり、事実多くのドイツ人がリタイア後トルコに家を買いロングステイしている。毎年3万人の日本人がトルコを訪れるが、ドイツ人は250万人/年である。そのため、米ドルよりもユーロの方がトルコでは便利である。ところによっては日本円がそのまま使える場合もあるが少数である。



サフランボルの子供たち

トルコ内の交通手段

都市から都市は長距離バスが圧倒的に便利。案内書に書いていない乗り換えもあるし、出発時刻もよく変わるので、致命的なことはない。長距離バスは時々食事とトイレの休憩をとる。また一時間おきにコロンを手にかけてくれる。鉄道は本数が少なくお勧めしない。

都市内の移動はイスタンブルを例にとれば、地下鉄、トラム(路面電車)、バス、ミニバス、タクシーといったところ。地下鉄も前述のトラム同様、切符を自動検札機に入れて回転式のバーを押し、ホームに入るシステム。地下鉄、トラム共、均一料金なので切符は戻ってきません。バスは道を覚えるのに便利です。IETTのバスはバスストップ近くの切符売り場で「3枚くれ!」などと言って事前に購入します。それ以外のバス会社は(IETTとボディーの色が違う)乗ってから払います。バスは清潔で、日本人にも違和感はないでしょう。ミニバスは特殊なので省略しま

す。タクシーは観光地で客引きをしているタクシー以外はほぼ問題ありません。私は急いでいた時、客引きタクシー(何故か前に2人乗っていた)に乗ってしまい、高々200円程度の距離を700円請求されてしまいました。「ふざけるな400円だ」と優しく400円支払いましたが、反省すべきは当方でしょう。一般的のタクシー運転手も「トラフィック」と言い出しがあります。要は混んでいるので横道に入り遠回りしたいよ、という意味です。そういう時は「ノー」と言えばOK。初乗りは62.5円でしたが、インフレですぐ変わると思われます。地下鉄は75円、トラムは65円、バスは70円です。

町中のトイレ

トルコの都市部は街中に「WC」と書かれた公衆便所が多く設置されています。基本的にすべて有料で15~25円です。観光地は特に多いので心強いかぎりです。チップを含め、25円札を数多く準備するよう、心がけるといいでしょう。清潔度は若干問題ありですが、機能的には問題なしです。我々日本人にとってひとつの問題点は、紙で拭くのではなく、中にある蛇口と手桶を使って洗うということです。しかし慣れればこちらが当たり前、といった気分になってきます。

トルコの治安

「アメリカのテロ事件後、何故日本はトルコを危険地域に指定したのか?」トルコで何回か尋ねられました。アフガニスタンから5000kmも離れているのに、というのです。イスラム教の国だから…ということでしょうが、「認識不足だ」と言われるのが関の山です。トルコでは政教分離が憲法で定められています。国家主催の行事では宗教で定めた衣服を着用することは禁止されています。例えばイスラムのしきたりで女性は髪をスカーフで覆わなければならないはずですが、国立大学の卒業式で女子大生が髪を覆うことが憲法で禁じられているのです。

人の心にも余裕が感じられます。置き引きは当然あると言われていますが、それらしい人は殆んど見かけないように感じられます。これは中国やスペイン、イタリアと大きな違いです。面白いことですが、犬や猫の目つきまで今起きたばかりのようにトロンとしています。近寄っても決して逃げません。鶏は放し飼いにされていますが、猫に襲われることはありません。トルコ人に「なぜ?」と尋ねても「さあー」との返事です。トルコ人の多くは別荘を持ち、夏と冬を住み分けているそうです。やはり豊かな国に犯罪は少ないということでしょうか?もちろん怪しげなお姉さんたちが声をかけるような場所は避けてという前提ですが。

リゾートとしての適性

以上トルコは欧州の人たちにとって既にリゾート地であり、リタイア後のロングステイとして適所であります。日本人にとって馴染みのない国であった最大の理由は、単に遠いということでしょう。ひとつの問題点は地震だと思います。私の旅行中にも地震がありました。トルコ人に尋ねるとカッパドキアやコンヤには地震がないとのこと。つまり地域によるのでしょう。これは今後の調査課題です。

エーゲ海に面したトルコ西部が典型的なリゾート地です。海岸に沿って別荘マンションが何戸と建っており、現在も建築中です。

3ヶ月以内の滞在ではビザは不要ですのでロングステイには問題ないでしょう。来年もう一度きてみたいと考えながらトルコ航空に乗り込みました。

マルタ島エンジョイスタート第一号

福岡県在住 会員 No.128 稲延 豔

英語の A の字もよう解らん英語音痴のシワ親爺がニュージーランドに翔んだのは、奉職した神社の全員リストラの結果ですワ。 K 神社の 15 年毎に訪れる遷宮の大改造と、不況続きた人事リストラに関わったのは 12 月まででして、当時 69 才。 明ければ平成 11 年の正月、誕生日の 70 才です。

世は正に高齢化の波、生涯教育の真っ只中。 1 日 1 日を満ち足りた健全ライフにするには、何が良いか？ 随分考えましたワ。 好きなこと、…それはしゃべること。 それを英語でできたらなーと。 月日の経つのは早いもの、遂巡している 4 月、突然愛すべき実弟が黄泉の遠い旅へと旅立ったのです。 そのショックたるや、日本が戦争に負けた時と変わりません。

その癒しの強烈な旅、それがニュージーランドのホームステイ三ヶ月。 そして今回二度目の挑戦、マルタ島行きの三ヶ月です。 はてまた、どうなることやら……。

ヨーロッパ人の渦の中での語学修業。一週間が過ぎた。 地中海の孤島、マルタ島。 不安が六、興味津々好奇心が四。 乗り換え続きの 17 時間の旅を終えて…今此処に立っている。

学校名「 I E L S 」。 石造りの七階建て、一階の事務所と休憩所のある空間。 壁際に沿って硬い椅子がずらりと並べられている。 隅の壁掛け電話ボックスの側である。 今日 2,001 年 9 月 13 日、金曜日、最悪の日、ちょっと頭をかすめる。

散々ヤングの女先生にイングリッシュの放射能を浴びせられ、真からバテ氣味である。この学校を世話した「 N J 」に文句の一つも言ってやろうかと思った。 受話器を取ってから相手はマイナス 7 時間、ハッと気が付くお粗末さ！ 指を折って数えてみる…早朝の 5 時やんかア。 だれも居る筈はない。 超マジに、孤高の寂しさがグッと来た。 正直、日本語で日本人とじゅんじゅん喋りたかっただけ。 それが本音。

すぐ前のカウンターに学生の順番待ち、一切の苦情や質問はここで受け付ける。 20 代と 30 代のウーメンスタッフ。 ヤングで美形の方にしか、人は並ばない。 僕の番が来た…「ハ、ワー、ユウ」と無理な笑顔を作つて声を掛け、机上の積み重ねから資料を取る。 それは毎週新しく発行されるエンジョイプランの一覧表だ。 裏表ぎっしりと、「マルタ島一周ツアーア」「コゾ島ツアーア」「学生向けオンラインのバーの招待」「遊覧船のマルタ島周遊コース」「○○周辺の乗馬訓練」「駆動車に依る郊外疾駆」などなど、諸々のプランが 14 項、隙間無しに、埋められている。 詳細はホームで辞書片手に翻訳するとして、取り敢えず分かり易い「コゾ島ツアーア」を申し込んだ。 来週の土曜日でスクールは無い。 8 時 15 分集合で、マルタリラ 8 ドル。 約 2,400 円と安いのがよい。 リターンは 17 時 30 分と手頃なり。 早速、美形スタッフに 8 枚の札を数えて渡す。



「 I E L S 」スクール前の路上で

□ゴゾ島行き□ 9月16日、土曜、晴れ

日差し強し。マルタ島初めての気分転換。エンジョイ第一号。昨夜早寝の6時起床。通常8時が取り決めの朝食時間だが、ホストママにご無理願って6時半で頼んでおいた。専住ママの部屋、2階の施錠ブザーを鳴らすと、不機嫌を顔に乗せたママが起きだしてきた。60度に頭を下げ、「サンキュウ、ベロマッチ」とゴマをする。紅茶2杯、ブチ切り食パントースト4枚にバターとジャムで朝食完了。集合場所は「シーフロントホテル前」、昨日学校帰りに調べて、おさおさ怠り無し。歩行時間は急いで20分。前は海上ぎっしり船が帆を下して壯観な眺め。向かって道路上に面した玄関上のホテルの字面は辺りを睥睨するように大きい。

馴染んだリュックを担いで到着すれば、10分前で既にそれらしき観光客がバス待ち顔。仲間を見て、処女旅行にひとまず安心。スタート時には30人ほどになった。年配にヤング、男に女、フリースタイルでオープンなのが良い。8時35分チケットを見せて各々バスに乗り込む。街並みから外れた窓の外は、丘状の畠、处处に草の叢と灌木が無粋な畠に僅かな彩りを見せている。石々石の街中から無味乾燥と雖も、畠にその作物を実らせて無くとも、その野生と自然の風物に「ヤッホー」と叫びたくなる程、心が洗われた。それは僅か20分かそこらのドライブだったが、見ず知らずの一人旅、思い切って良かった。選択は間違ひ無かったと、胸内に入道雲のようにムクムクと爽快感が漲った。見なけりや損とばかりに目を見張れば、荒野と呼ぶに相応しい黄土色の畠地のあちこちに、耕作まかりならぬと拒否するように、黒々と石や小岩が顔を覗かせている。更に進めば累々、畠々と巖石原の広野が出現する。それを見れば、マルタ島はやはり8割方巖山で成り立っていると認識させられる。

それらの変岩奇岩を見届けているとバスは停止った。降りると、その場で皆を止め、案内人が巖石原を指差して曰く、「紀元前4~5,000年前の宮殿跡」だと。英語音痴のボクが解る訳がない。ただその説明の中にパレスとかキャッスルとかいう言葉、サイサンドなる年数を捕らえたということで、自己推量ではあるがそう間違ってはいないだろう。周りを見ればフンフンと頷くその顔に腹が立つが、彼らに再確認するのもくやしい。

坂をすこし下ればぽっかりと開いた洞穴に行き着いた。灯りの点る内部は狭く、一人づつ通るのがやっとで、通路傍にはパイプの柵が施されている。紀元前の原人の生活跡だと一目で解る。竈で煮炊きしたのか？はてまた水瓶か？

それにしては巨大過ぎるのでは？異様な造型に頭をひねる。千古の昔古代人が土を練り容器を作成する技術を身につけていたとは想像し難い。徽臭い匂いが火照った肌をひんやりと沈めてゆく。壁のそこかしこに穿った彫り穴や傷跡が臨場感を高めていた。しばしのタイムマシンのよすがではあったが、興味と満足をそそられた穴蔵であった。



古代人の生活跡(穴居生活)

バスに乗って再び郊外の荒野をひた走る。停まった所は海岸べり。ヴァレッタと称する埠頭前の乗船地に到着した。これからいよいよゴゾ島渡り。バス1台の我々以外に、他からやって来たツアーがバス4台を連ねていた。下車したツアー参加者が列をなし船内に吸い込まれて行く。ボクは先行きに思いを馳せ、軽い興奮を味わっていた。

紺碧の空はどこまでも青く、放射状の水平線には船の姿は見られない。足下の海水の色は

紺碧というか、深緑というか、とにかく絵の具を溶かし込んだような色である。さすが地中海、ここでしか味わえない。しばし目の保養と涼風を楽しんでいたが、あまりの激しい日差しに参り、部屋に戻った。中規模のカーフェリーは大揺れすることもなく、ゴゾ島のヴィクトリアターミナルに到着した。僅か 20 分の船旅であった。

多くの船客はそれぞれバスに乗り発車していったが、たまたま我々だけが取り残されてしまった。摂氏 35°C を優に超す中、待機せざるを得なかった。マルタ島の三分の一しかないこの小島はバスの便も路線も少ないとのこと。しかし 20 分ほどで 3 台のミニバスやって来たので間もなく出発することができた。

石の建屋に入った。博物館のようだ。船首が垂直のこの地域独特の箱舟だろうか？ 水晶体に似た大きな直立の岩体。恐ろしく精巧で人工とは思えない漁師の作業風景を型取った人形。今にも声を出して動き出さんばかりである。狭い通路を押し出されるトコロテンのように進んで行くと、暗い闇の世界の奥にポッカリと洞窟が現れた。背中を丸めて這いこむと、闇の世界にパッと灯りが点された。キリストに帰依する古代人の真摯な姿、敬虔な祈り、裸に近いボロ衣のまとい。かたわらでは老爺、しづしづの婆や、子供たち、善男善女の平和な家族生活、これらの塑像は驚嘆に値する出来映えだ。

次に壁のスクリーンに投影された映像は、15 世紀頃のギリシャやオスマントルコとの壮絶な戦争、十字軍の活躍、大城塞都市の築城など。あまりにもエキセントリックな映像に度肝を抜かれた。それと同時に、地中海の中央に位置する地勢的付加価値が周辺諸国の攻防を生む原因であったであろう必然性に思いを馳せた。歴史的事実がフィルムにより、よく理解できた。

暗闇から戸外にでると、瞬間目がとまどい、温風が容赦なく身体を包み込んだ。時計に目をやる。11 時 22 分。次に大型バスに乗り込んだ。窓外は夏枯れの畠地が延々と拡がり、石積みが適當な広さに区割りをしている、そんな風景がずっと続いた。やがて海の見える丘に至り、曲がりくねった道を下りてコンクリートを流しただけのお粗末なボート乗り場に着いた。

正面にポッカリ開いた洞穴が口を括げている。ここが観光スポットの「ブルーグロット(青の洞門)」に違いない。波の浸食でできた巨大アーチだ。すぐ傍では若者 4 人が器具を付けてダイビングの準備中だ。右向こうの砂場では家族連れがランチの真っ最中。後ろにある 2 軒の夏小屋はひっそりと閉じられたまま。ボートに乗せられ、いざ出発。ボートがトンネル内に入ると、中年の女性が弾けるような喚声を上げる。全員



グルーブロット (青の洞門)
がカメラマンとなり、休みなく撮り続ける。ボクも負けてなるものかとシャッターチャンスを探し続けた。

トンネルを抜けると大海原の大波がボートを直撃し、翻弄する。その度ごとに、女性群の黄色い声は海上をこだまし、青い空を突き抜ける。次の空洞を出る瞬間、崖縁を洗う波間に海底を見た。透明度は 100%。光を反射する海面がきらめき、海水の色彩変化は極楽浄土を彷彿とさせた。この世のものとは思えぬアニメの登場を、美の極致を垣間見た瞬間だった。

ラオス便り

大阪府在住 会員 No.329 中西 優子

パース（オーストラリア）滞在を終えカオサン（タイ）の安宿で一泊した翌朝、ビエンチャン（ラオス）行きのチケットを購入すべく旅行代理店にいくことにしました。カオサン通りに何軒か並んでいるので値段をチェックしましたが、どこも似たような感じでしたので何人かお客様がいて忙しそうなところにしました。聞くところによると 3200 パーツで明晚出発のチケットがあるというのですが、初めての地での夜間到着は避けたいので、返答しないでいると「この便しかないですよ」とのこと。それなら仕方がないと OK と言いかけたのですが、考えていた以上に料金が安いのが気になり聞いてみることにしました。「これはもしかしたらラオス航空ですか」と。「そうだよ」と当然のようにうなずく受付の女の子。ここカオサンは安宿街なので、飛行機チケットも安いほうを選ぶ人がほとんどなのでしょう。私は宿にお金をかける気はありませんが飛行機は別です。ラオス航空機は飛び立つ前に、煙がモワ～、水が上からポタポタの噂の飛行機です。今のところ大きな事故は起きていませんが、明らかに整備不足&機体が古いとのこと。「安くてもラオス航空はコワイからタイ航空にしてください」と伝えると苦笑いしていました。

けっきょく 8 時 20 分発、ビエンチャン到着 9 時 30 分のタイ航空を選びました。カード支払いとなると本来は店が負担する 3 % の手数料も本人負担となるので、ビエンチャン空港税とカード手数料 3 %込みで 5330 パーツ支払いました。（本当はカードを使いたくなかったのですが）

翌朝、5 時過ぎにチェックアウトして闇夜の中タクシーを拾ってドンファン国際空港へ向かいました。代金 175 パーツ（本当はもう少し安かったのですが運転手のおじさんが間違えた）。

それでも 1 時間のフライトでまともな食事ができるとはすごいですね。スチュワーデスさんも大変ですが、食べる方も落着きません。ジュース、飴、朝食、生花の蘭ブローチ（これがステーキ）が手際よく配られていき、あっという間にビエンチャンに到着しました。

到着時ビザの申請は大変混んでいて、中には入国拒否される人もいましたが欧米人はほとんどノーチェックのように見受けられました（もちろん私もですが）。申請書類に何とか書き込んで 1 時間ほど待った後、30 \$ 支払って無事入国となりました。空港の出口を出ると「どこへ行くの？」とさっそく声がかかりました。タクシーでしか市内へいけないことはわかつっていましたが、5 \$ とは高すぎると思いましたので別の運転手にあたりました。しかし、みんな同じ金額しか言わないのです。それでも納得がいかないのでたたずんでいると料金表を見せられて「みんなこれぐらいの料金だよ」と言われたので、しぶしぶ納得して 4 \$ で手をうちました。本当は 5 \$ でもよかったですですが日本人だと見るとふつかけてくる事もあり、ボラれるのだけはいやでしたので、取りあえず交渉してみたのです。中級以上のホテルですと空港まで迎えが来ているようでした。

ビエンチャンの町はなんと申しますか、ものすごくローカルでタイムスリップしたような町並みでした。見事なくらい何もないです。ホコリっぽい道路沿いをバラック小屋が不格好に並んでいるという感じでした。お世辞にもひとさまに観光をすすめられるさまではありませんが、町中をあるいていると日本の戦後のように（私は戦後は知りませんが）それはまたそれで感慨深いものがございました。

宿はメコン川沿いのゲストハウス MIXAY G.H.に決めていました（もちろん予約はしていません）。1泊4\$ということで2泊分340バーツ支払いました。ここはタイバーツ、U.S.\$、ラオスキープが使用できますが、\$で支払うのが一番お得です（キープが一番損です）。各通貨のレートを考えるとタイバーツで支払いラオスキープで釣り銭を受け取るとき、もっと多いはずではないかと感じることもありました。その逆でもっと少ない釣り銭のはずではということもあり、テキトーな勘定であると解釈しました（どちらかというと商売つけがなくのんびりしている）。このゲストハウスはカオサンのそれよりもずっときれいで、有り難いことにホットシャワーでした。

チェックインしてすぐに町中にでました。ガイドブックをたよりに日本語可のネットカフェを探しましたが、もうそのカフェは無く、自力で探さざるをえませんでした。ようやく探し当てたネットカフェで自身のサイトに書き込みをしてから観光をすることにしました。ネットは1分150キープ（1.2円ぐらい）

町の中心地からシーサケット博物館、ホーパケオ博物館などいくつかをまわりましたが午後2時にはすべて見終わり、観光は終了しました。寺院の入場料は2000キープ。

その後、タラート・サオという巨大市場をまわり、飲食コーナーで焼きそばをいただきました。5000キープ（70円）。

町でただ一軒の洋菓子屋のブラウニー（1個7000キープ）が美味しいと聞いていましたので食べてみましたがなかなかのお味でした。

1円=80キープぐらいのようですが、インフレが激しく現地通貨キープのレートはかなり不安定です。ビエンチャンのみ滞在するのでしたらバーツだけでも大丈夫ですので、キープに両替する必要はないように思います。

2日目は観光するところがほとんどお休みなので、市場にでかけました。名前もわからないフルーツをいくつか買い込んで、ラオスのお菓子をポリポリしながら歩き回りました。途中で食したラーメンは3000キープ（40円）、ティッシュはさすがに高くて7500キープ、葉書が10枚ほどで30000キープ。観光客用のものはかなり割高のように感じました。といっても現地での感覚ということですが。ここラオスでは、外国人は英語でなんとか通しているようでしたが、見た感じ値段とメニュー以外はほとんど通じていないように見受けました。

今回の旅ではバスに乗って世界文化遺産のルアパハーンに行きたかったのですが、悪路であり治安上の心配もあり、なにより時間的に無理があるので取りやめることにしました。また、ミャンマー滞在も一日のみとし、カンボジアのアンコール遺跡群もあきらめました。

翌朝、宿を出発して市場横のバスターミナルへ。目的のタドゥア行きのバスを見つけたのはよかったです。観光バスではないボロボロの普通バスの上、すでにぎゅうぎゅうの満員でした。それでもせっかちな私は次を待たずに、1000キープを支払いむりやり乗り込んだのでした。しかし、そのあとから10人近くが乗車してきましたし詰め状態に。

友好橋からタイに再入国する際に、ラオス側のイミグレーションで「どこに宿泊していたか」

と聞かれました。もともと社会主义体制だったので、外国人を宿泊させるにも色々と制約があるのでしょう。

ラオスの人々はのんびりとしていてほったくり、がめつさとは程遠く、金銭のトラブルは交渉さえきっちりとしておけば大丈夫だと感じました。また近いうちにくることが出来るようにラオスキープは両替せずに持ち帰りました。

(編集担当より)

中西さんは「中西佐緒莉」というペンネームで本を出版されています。最近出版された本は本会報卷末の「図書案内」をご覧ください。またホームページ「FPWC」を運営されています。併せてご覧ください。<http://www.fpwc.co.jp/>

メーリングリスト・ミニ情報

ゴールドコーストでガレージ Sale

「ガレージ Sale は面白くて、はまるよ、」とこちらに長く住む日本人の方に聞きました。
彼の家に伺ったおり

彼曰く、「この絵はオーストラリアでちょっと知られた画家、この家具も実はガレージ セールなんだよ」と指を 3 本かざしてにやにやしています。我々は顔を見合わせてええっ、30 ドル(2000 円)と吃驚・・・・

俄然、欲がムクムク・・私達は早速土曜日の早朝眠いまぶたをこじ開けて欲に走ったのです。こちらは家の住み替えが盛んで大げさに言えば家を買った時から、もう次に住む家の事を考えるのが常識ですから町中が家、車、ボート、Sail の氾濫です。それで引越しも多くガレージで何でも売るわけです。

コツは 1、ガレージセールは週末土曜だけである。早朝 6 時頃行動開始 おにぎり持参。

2、まず土曜日の朝 6 時半ころ、近くのガソリンスタンドで Weekend Bulletin と言う新聞を 1 ドル 50 セント(約 100 円)で買う。

3、紙中 Buy and Sell の中の Garage Sales の案内を探す。

* BROADBEACH Waters 333 monacoStreet, furniture, tables,
という風に宣伝されています。

4、幾つかの案内中、近くて、高級住宅街を選ぶ。何故、(高級の品があるから)

5、だいたい朝 7 時開始だから一番乗りをめざす。

6、物色はスピード一に。決めたら 値段交渉は後にして、一刻も
早く腕の中に抱きしめる。(のろのろしてると隣の人に奪われる)

この点日本の閉店セールに似ている。と教えられました。

このような点を頭に叩き込んで我々は戦いにでも行くような昂揚した気分で突っ走りました。文字どおりガレージに並べられる Garage Sales にはさすがに日本人はいませんでしたが、ローカルの人が続々と車で乗りつけます。こちらの人はリサイクルをこんな形で利用し合っているようです。

最初の経験のこの日の我々の戦果は絵 5 枚、花瓶 3、皿 10 枚、洒落た調味料セット、ワイングラス 5 個ガラスの大皿 1 枚しめて 50 ドル(3500 円位)でした。おまけに、Garage Sales は英語の勉強になる、運転の練習になる、地理が解る、良い物が安く手に入るなど朝起き三文の得です。私達は次の土曜日を心待ちしています。

NO18 の木村さん

マレーシアにおけるリタイアメントビザの変更について

クアランプール在住 会員 No.302 末 英樹

(編集担当より) クアランプール在住の末英樹さんがメーリングリストに標記の情報を寄せられました。貴重な情報ですので、記事として掲載します。

302 SUE です。昨日(3/19) 変更即日実施されたとのことです。

「シルバーへアプログラムを “マレーシアは私の第 2 の国” プログラムに改名して即実施」。これまで “シルバーへアプログラム” という名で施行されていた 50 歳以上の外国人がマレーシアに長期滞在できる恩典政策を、即日改正して年齢制限を取つ払う、と内政省の副大臣が発表しました。

政府はこの “外国人長期居住” 条例を即日改正するとともに、呼び名も同時に変更して “マレーシアは私の第 2 の国” とする。

この改正で多くの高収入ある外国人がマレーシアに来て居住し、家を買う、そしてマレーシアを第 2 の家のようにみなす。これは政府が努力している経済刺激策の一つでもある、と副大臣。

条例は緩められたが、誰でも認めるという事ではない。申請者は警察や担当官庁の検査を受けなければならない。さらに国家の政策や税金条例を守らなければなりません、と副大臣は解説しています。

“マレーシアは私の第 2 の国” で変更された主な点と特典

申請者は毎月の固定収入が RM 7,000 以上、又は夫婦であれば RM 10,000 以上必要。

申請者はマレーシアの銀行に RM10 万以上の定期預金を預ける。

又は夫婦であれば RM15 万以上の定期預金が必要。(注①)

その後このプログラム下で期限を更新申請する際にも、同額の預金額が必要。

申請者に許可を与える場合、これまでの(注②) 3 年間から 5 年間に期間延長する。

ただし許可を受けた者は毎年 社会訪問ビザの更新は必要である。

これらの申請を処理する出入国管理庁は、申請に関して労働日 14 日間以内(注③)に処理する。

シルバーへアプログラムではマレーシア人スポンサー(保証人)の推薦が必要であったが、これからはそういったきつい規定はなくす。

これまでと同様、申請者は外国又は国内の医療保険に加入していなければならぬ。ただ例外として、申請者が高齢のため保険に加入できない場合は、官庁はそれを考慮にいれるとのこと。

このプログラムの適用を受ける外国人には、1軒の家屋又は 1 ユニットのコンドミニアムの価格が RM 15 万以上あれば、それを購入することを認める、同時にマレーシアの銀行に購買価格の 4 割から 6 割のローンを申請できるようにする(注④)

シルバーへアプログラムが開始された 1996 年から今年 1 月までに 795 人の外国人が申請して認められました。その内 2001 年に認められた人の数は 313 人です。内訳は英国人が 169 人、シンガポール人が 94 人、日本人 83 人、台湾人が 70 人、中国人が 49 名、その他です。

(Intraasia 注 : 海外で引退生活、余生、余裕ある生活などをおりたい方は少なからずいらっしゃるようですね。いろんなうわさに惑わされず、まず自分の目で現状を見てから判断されるべきですね。今回の変更措置はまことに魅力的な面を含んでいると思いますよ。マレーシアを候補地に是非入れてください)。 クアラルンプール在住の Intraasia さんの翻訳情報からの引用です。

以下は SUE のコメントです。

注① 定期預金と有りますが、期間は明示されておりません。私の場合は「残高証明」でOKでした。

注② 3年間と5年間の関係が意味不明なのです。私の初回の申請が受理されたのは2000年8月で5年間です。

5年後に一回 renewal 即ち10年間までの解釈でした。毎年の、社会訪問ビザの更新時、私の場合は昨年8月でしたが銀行の残高証明と医療保険関係の書類、ほかに規定書式の書類が必要でしたが非常に簡単でした。

注③ 昨年14日間が3日間に短縮されたとの報道がありました。また元にもどったみたいです。

注④ 他のビザでの外国人の最低購入価格はRM25万です。昨年の報道ではSHPでの住人はRM15万以上であれば2物件購入できるとのことでした。何とか不動産物件を購入して欲しいとの政府の願望です。

ただローンを組んでまでというのは如何でしょうか。

SHPに関しては政府の目論見通りには行ってないみたいで毎年必ず変更があるようです。

申請に際し一番厄介なスポンサー条項をはずしました。マレーシアに縁のない方にローカルのスポンサーを付けなさいといつてもできるわけがない。

昨日の夕方この報道を知らずにイミグレのホームページでSHPのトピックスを見たのですが、変更の事には触れておりませんでした。何でも有りのマレーシアでした。

(参考) 3月20日現在 1RM=約34.5円

マレーシアの通貨は現在 1USドル=RM3.8 の固定相場制です。

マクタンの土地開発……アイデア募集！

山口県防府市在住 会員 No.291 福田 修

1. 2002年1月、フィリピンのセブ島をはじめて訪れて金持ちの友人に会った。彼はマクタン島にあるシャングリラ・ホテルと日本料理店（新築中）の地続きに3.5ヘクタール(10600坪)の土地を持っているが、このままでは勿体ないので開発したいとのこと。
土地は海に面していて海水面埋め立ての権利もあるから1ヘクタール(3030坪)程度はごく簡単に陸地にできるという。
2. シャングリラ・ホテル（マクタン）は10ヘクタール（30300坪）の土地に500室のホテル棟などがあり、同系のホテルの中では一番稼働率が高い由。特にホテルのロビーは2方向に壁がない吹きぬけになっており、場所が半島で両方が海のため常に自然の風が吹いている。勿論エアコンはないし、不要。
3. ここからはあの有名な右手に刀左手に盾を持ったラプラプの立像もごく近くになるし、セブ・マクタン国際空港も近い。だからマニラに向け飛行機に乗ると窓から現地が見える。ヒルトン・タワー（30階建のホテル）も徒歩圏内に新築中。
4. 友人の計画では、シャングリラ・ホテルには日本人宿泊客が多いので、年配の日本人向けの一軒家を建てる。子供たちはシャングリラ・ホテルに泊まり、両親のもとを歩いて訪ねればお互いに都合が良いのではと。
5. 現地はほぼ平地で大きな樹木はないが、年配者向け一軒家ということもあり現存する木はそのまま残す。道路は樹木をよけて曲がりくねった造りになるという。彼が12年前に植えた苗木は5mの木に成長したと指差してみせてくれた。海は埋め立てる由。
6. ここからは私の意見であるが、①土地所有者が「開発する」といえば第3者がこれを止めさせることはまず困難。②しかし環境にやさしくかつ経済的にも成り立つ開発をしてもらう様地主を仕向けることは可能。③私の考えでは年寄り向けのマンションよりは一軒家の方が望ましかろう。残るは経済的合理性の問題か。
7. しかし、サンゴ礁の拡がる青い海は埋め立てない方が良いのではと思う。一度埋め立てると永久にもとのきれいな海にはもどらない。④代替案としては大きな池とし魚を飼う或いはボート遊びができる海辺とすれば、物販やレストランなど地域全体が活況を呈することも考えられ現地に新しい雇用も生まれる。
8. でも、ここは私の考えだけでなく南の会の皆様方のアイデアを広く求めるのが望ましいと考えた。皆様方はいずれ南の国を訪れられる筈。自分の考えをとりいれた施設が、環境も保たれ、大きく繁栄し、地域にも貢献しているのを飛行機の窓から見下ろす…これに勝る生き甲斐はあるまい。
9. については、この土地の開発についてのアイデアを広く求めます。
(1) 一軒家に住む人の立場から。(2) ホテルに泊まり両親を訪ねる子供の立場から。

(3) レジャー施設に関連して。---等種々ありますが一切の制約はありません。
皆さんから寄せられたアイデアを英語に訳して伝えます。

10. この友人に会ったキッカケ…ダバオからセブに行くつもりで飛行機の切符は手配できたものの、ホテルの予約がどうしてもとれない。聞くとフィリピン全土からお客様が集まる（腕利きのスリも）シヌログというお祭りが原因。困ってしまいダバオの友人（一説ではダバオで2番目の大金持という）に相談したところ、セブの友人に探させるという。2日かかってやっとホテルが見つかった。

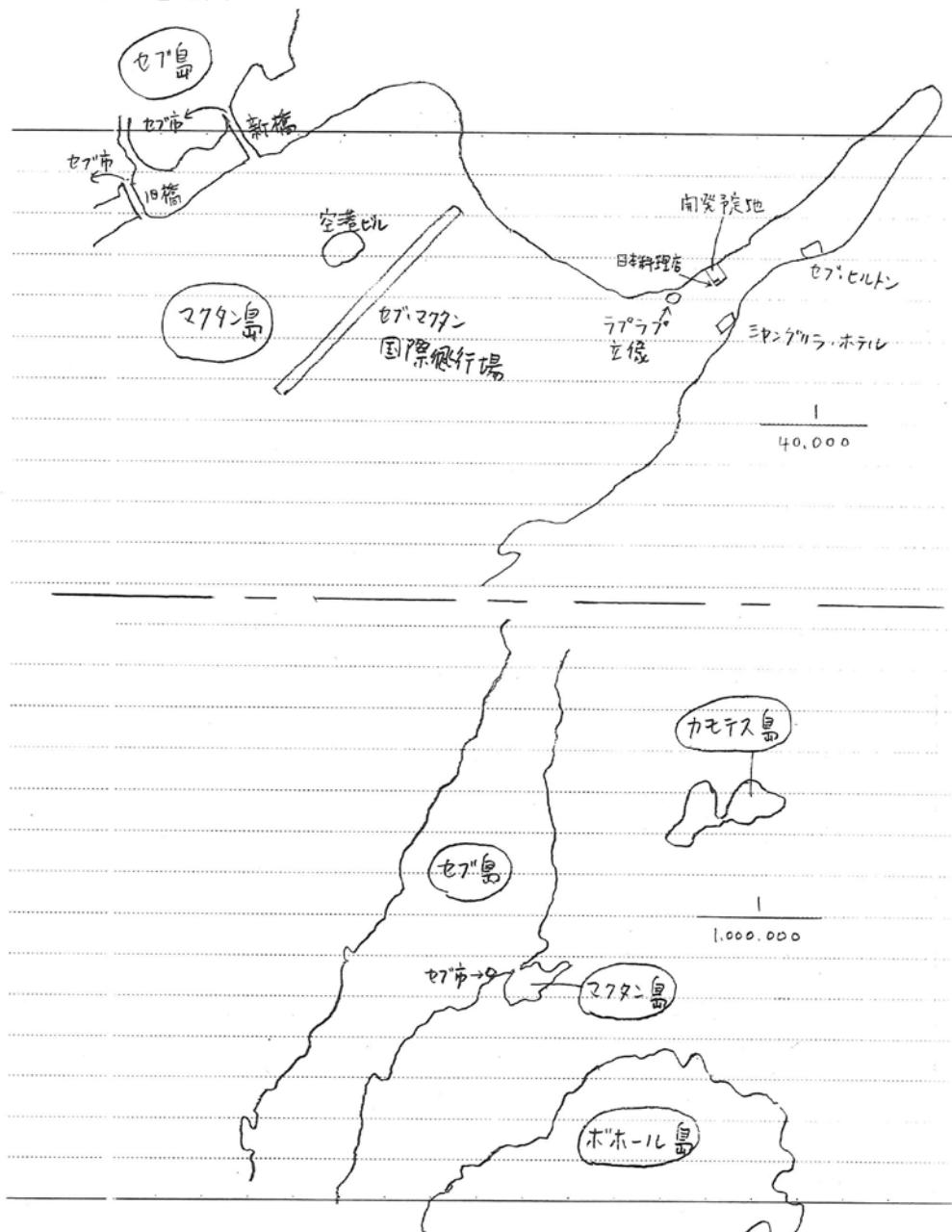
11. ついでながら「外国人名で土地は買えない」ことをお互いに知った上で、全く無関係な現地の不動産業者に海岸に接する土地の時価相場を聞いてみたところ、1坪当たり4万円弱つまり---1ヘクタールで1.2億円の売り物件があるとのこと。

(連絡先) 福田 修

Tel & Fax : 0835-24-2573

〒747-0844 防府市華園町 9-22

(添付) セブ島付近地図



南の会・伝言・掲示板

1. 表紙の言葉

No. 38 橋本 比奈子

ピース・ボート「オリビア号」の出航を見送りに行った時のスケッチです。元会員でダバオ在住の田口さんが世界一周の旅（南回り—赤道に沿って地球を一回りする）に出かけられましたので……

2. 図書案内

◎年金だけで海外で暮らす本

著者：中西佐緒莉 発行者：(株)朝日ソノラマ 発行日：2002. 3. 30 定価：1,500 円
内容：①海外暮らしをする理由 ②具体的な準備と手続き ③海外暮らしを成功させるための心構え ④おすすめ滞在地（ハワイ・カナダ・コスタリカ・タイ・マレーシ・インドネシア）⑤海外暮らしの実際例 ⑥お金の管理と保険 ⑦トラブル事例とその対策 ⑧その他の国のビザ取得について、女性の立場から、海外暮らしを志向するヒント集。

南の会会報記載のオーストラリア、タイのリタイアメントビザ、医療等についても触っています。また、各国のビザ取得等も分かり易く説明。

◆著者は99年FPウイメンズクリニック設立。日本FP(ファインシャル・プランナー)協会会員。
◆ホームページ「FPWC」<http://www.fpwc.co.jp/> を運営。

海外各地を取材して、「リタイア後の海外暮らし」をテーマの一つにセミナーを開き活躍中。また著者は本名、中西 優子さん、南国暮らしの会会員(No.329)です。

◎アジアの安宿街

著者：游人舎編 発行者：双葉社 発行日：2002. 3. 31 定価：1,500 円
オビ：アジアを歩くバックパッカー達の拠点の街を現地取材によって詳細に網羅するガイド。掲載地はバンコクのカオサン、ホーチミンのファングーラオ、モクバイ、ポイペット、スノウリなど。

◎東南アジア雑貨店ガイド

著者：旅名人編集部 発行者：日経BP社 発行日：2002. 1. 21 定価：1,500 円
オビ：アジアン雑貨で癒される！ 話題のチェンマイ、ホーチミン、バリ・・など欧米人に人気のモダン店97店紹介。

◎おりがみ全書

著者：仲田安津子 発行者：池田書店 発行日：？ 定価：1,000 円
オビ：たのしくおれる作品がいっぱい。

*言葉も何もわからない初めての土地。なにをどうすれば現地の人に溶け込めるのか？ 悩む必要はありません。日本から色紙(300枚で350円位)を沢山用意していって、ツルやカメを折って現地の人にあげて下さい。ニコッ。優しい笑顔とともに、どうやって折るの？、折り方を教えて…という反応が返ってきます。そうしたらあなたは黙つて折る。これだけではあなたは間違いなく人気者。言葉は要りません。（編集：足立）

訃報

隅田 逸雄様（兵庫県加古川市在住、会員No.322）が、3月15日の朝、永眠されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

支部・部会伝達板

☆ 九州支部より

支部長 竹村 納俊

ハワイけちけち旅行に行ってきました

ニューヨークのテロ以来、海外旅行者の激減になやむ旅行社がハワイ 6 日間 49800 円の格安旅行を今年 1 月に売り出した。旅のプロを自認するわれわれメンバーが何で見逃そうか。早速希望者を募っての 4 人でハワイ行きとなった。

折角安い費用で来たのだからと、交通機関は特別の場合を除いてバス。食事も 1 回だけの豪華なホテルでの贅沢な食事を除いて、安い店ですますという徹底ぶりだ。

しかし、これが意外に面白かった。地元の人々にバスの時間や、食べ物屋、ハワイ美術館の場所を聞き、バスでオアフ島の半周旅行、ワイキキの浜辺での散策とフラダンスショウなどパック旅行にない文字通りの手作りの旅となった。

中でも、ニュージーランド、マルタ島と 2 度の海外 6 ヶ月に及ぶ研修で鍛えた稻延さんの英語を駆使しての活躍は目覚しく、バスの運転手からは乗車券をせしめ、バス停で涼をとる地元の人々と雑談の末友達になるなど、八面六臂の働きでその英語力を遺憾なく発揮してわれわれを驚かした。とても楽しいハワイ旅行でした。今年度は恒例のフィリピン行きのほか、ペナンかチャンマイに行こうと目下検討中です。

☆ 関西支部より

支部長 大橋 繢

2001 年度 関西支部の活動報告

- ① 平成 13 年 5 月 27 日 (日) 会合開催 参加者 30 名 会場 : パナヒルズ大阪
 - (1) 講演 江口博之氏 (前ダバオ名誉領事)
 - (2) 会員体験談 太田御夫妻、渡辺克美氏、木下裕子さん、長内威樹氏
 - (3) 会員自己紹介
- ② 平成 13 年 10 月 28 日 (日) 会合開催 参加者 31 名 会場 : パナヒルズ大坂
 - (1) 講演 斎藤ネリーサさん (大阪外大 講師)
 - (2) 会員体験談 平野雅一氏
 - (3) 会員自己紹介
- ③ 平成 14 年 3 月 10 日 (日) 会合開催 参加者 23 名 会場 : パナヒルズ大坂
 - (1) 会員体験談 高橋道朗氏、田中享之氏、小林高明氏
 - (2) 会員自己紹介

* なお、2002 年度第 1 回目の会合は 6 月又は 7 月に開催する予定です。

☆ 関東支部より

支部長 宮崎 哲郎

サロン南の会 (毎月第 2 土曜日、品川新高輪プリンスホテルにて開催)

平成 13 年 1 月 10 日	15 名参加
平成 13 年 1 月 8 日	15 名参加
平成 14 年 1 月 9 日	16 名参加
平成 14 年 3 月 9 日	32 名参加

お陰様で試験的に始めた「サロン南の会」は徐々に皆さんに評価されるようになって参加者も急速に増えて参りましたことは大変喜ばしいことです。このサロンは皆が気楽に集まり、ダベリ、情報の交換をし、懇親を深める場です。サロン常連メンバーが出来たり、新幹線で遠くからおいでになる方などが毎回居られるなど当初の予想とは違った展開もして参りました。サロン終了後の飲み会が特に好評、これが目的の方も居られる様でこれまた結構なことです。今まででは JAL のラウンジを使用してましたが出来るだけ会議室を借り切り落ち着いた雰囲気で開

催したいと思います。このサロンについてのご意見も承りますので遠慮なくお申し出ください。

一度覗いて見てください、皆さんの参加をお待ちします。

1. 開催日時：毎月第2土曜日 午後1時～5時頃
2. 開催場所：新高輪プリンスホテル JAL グローバルクラブラウンジまたは会議室
3. 費用：300～500円位
4. 連絡（問い合わせ、参加希望等）は事務局宮崎まで。

☆ 事務局総務担当より

担当理事：宮崎 哲郎／菊地 功

1. 役員会を1月19日、理事会を3月11日にそれぞれ開催しました。次回は4月21日に理事会を開催する予定です。
2. 今回は下記によりミニ情報交換会を開催しました。

番号	日付	場所	情報提供者	参加者	世話役
1)	14-01-19	新宿マイティ好蘭	タバオ在住 平野雅一さん	16名	宮崎哲郎(163)
2)	14-03-31	大崎ゲートシティ一番どり	クラルンホール在住 末 英樹さん	20名	宮崎哲郎(163)

3. 本年4月1日付けの南国暮らしの会理事長名で、国内4支部長、海外5支部長に「当会の支部長を委嘱する」旨の委嘱状を発行しました（3月理事会で当会チェンマイ支部が設立されました）。

☆ 会員担当より

担当理事：酒匂景輝／鈴木 剛

1、会員動向

平成13年度会員数：354名（平成14年3月31日現在）

内訳 個人正会員：352名

賛助 会員：2社

2、平成14年度継続会員申込みは済みましたか

4月は年度切り替え期です。会報新年号に郵便振替用紙を同封しておいたのですが見落としている方がいらっしゃる様で、3月下旬に数名の方が会費は何時で幾らかとの問合せを頂きました。

継続会費未納者には今回の会報にも郵便振替用紙を同封します。

退会希望者は何らかの手段（手紙、電話、FAX、Eメール）では非連絡を頂けると名簿整理などの関係で大変助かります。会費未納者は自動的に退会者扱いにするのですが、出来るだけ皆さん方の意思表示の上で名簿から削除したいです。宜しくご協力の程お願いします。

3. 役員立候補者募集

平成14年度は役員改選期（1期2ヶ年）です。我と思わん方は是非立候補して下さい。

・理事、監事、支部長及び支部長代理（南の会必携の細則〔細一7頁〕の今後支部予定地もOKです。）

・理事、監事は理事会を東京地区で開催する関係上、理事会に出席可能なエリアにお住まいの方に出来るだけお願いいいたします。

理由：理事会は年間10回程度開催しております。その理事会に出席出来ない方では意味がありません。また出席者には交通費実費（最高1回3千円限度）のみを補助する事になっています。

尚役員の業務内容については、南の会必携の定款及び細則をご覧下さい。

以上

*規定集編集委員会より

南の会必携正誤表について

会員No.291福田修様よりミスプリについて指摘を貰いました。有難う御座いました。

別紙正誤表にて必携を訂正して下さい。

責任者：酒匂景輝

☆厚生担当より

担当理事：藤本 靖人

心臓病の発作、その時貴方は！！

年齢と共に生活習慣病が増加して来ることは否めません。南の会の皆さんも、コレステロール、高血圧、不整脈など循環器（心臓）関係が気になる方も多いと思います。

心臓病は日本人の死亡原因ランクで癌に次いで多いのです。さらに脳血管障害を含めた循環器病という言い方をすると最も多い原因となっています。

俗にポックリ病で逝くのが理想だと言われる方が多いと思いますが、裏返すと死ななくとも良いのに、と言うこともできます。また死に損なうと後遺症を残す羽目になり、寝たきり、痴呆症、半身不随ということになってしまいます。

そこで、6月1日の情報交換会において、この分野の第一人者である日本医科大学第一内科学の清野 精彦先生に心臓病の発作時の対処方法についてお話をいただくことを企画いたしました。また同時に発作時に呼吸停止という事態におちいることが間々あることから東京消防庁にお願いして心肺蘇生術の実習をしていただく予定で準備を進めております。

生命のある限り元気にロングステイなどを楽しむことがこの会の趣旨であることから、体を気遣うことも必要かと考え企画してみました。皆さん、ご期待下さい。

☆会報担当より

担当理事：足立 洋太郎／小川 譲雄

パソコンやワープロを使って投稿して下さる方にお願い

最近パソコンで原稿を作成し、それを添付ファイルとしてEメールで送って頂いたり、普通のワープロで打ったものをフロッピーで送って頂く方が増えてきました。会報担当としては編集の能率が上がり大変助かっております。

現在、編集作業は『ウインドウズ』という基本ソフトと『マイクロソフト・ワード』という文書作成ソフトを使っております。これらと異なったソフトで作成された原稿は互換性がないため、時には初めから入力し直しています。（最新式の機種は互換性があるかもしれません…）

そこで、『マイクロソフト・ワード』以外の文書作成ソフトを使っていらっしゃる方にお願いがあります。原稿を打つ前に、まず「ページ設定」を次のようにセットして頂けませんか。

文字数：42 字送り：11.2 pt フォント：明朝

行数：41 行送り：18.25 pt フォントサイズ：10.5

次に「用紙サイズ」はA4の縦、「余白」は上下17mm、左右22mmにセットして下さい。

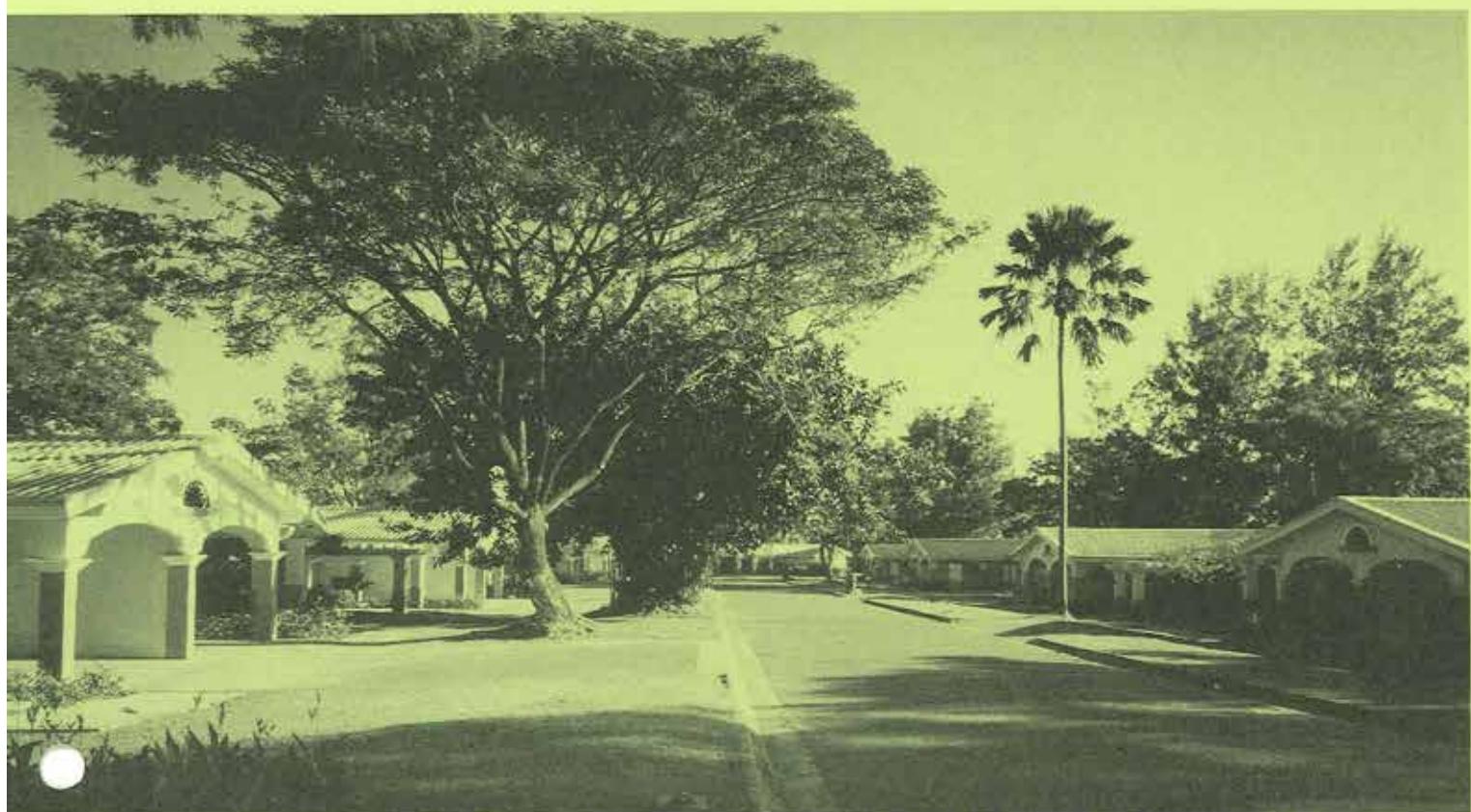
機種又はソフトにより仕様が異なるため多少の差異は構いません。

なお写真を入れる場合は1枚につき22文字×10行のスペースを空けておいて下さい。デジカメで撮った写真は印刷するとボケますので、出来るだけ印画紙の写真を送って下さい。こうして頂くと、皆様が入力されたものがほぼ完全版下に近くなり、大変助かります。

このように書きましたが、慣れていないため上記セットが困難な方は今迄のままで結構です。もちろん手書き原稿の郵送、FAXも大歓迎です。皆様の積極的なご投稿をお待ちしております。

私達会報担当もまだパソコンは初心者に毛のはえた程度です。「こうすれば異種ソフト間の問題は解決するよ」とか、「このソフトを使えば互換できるよ」といったアドバイスがありましたら是非会報担当（No.280 小川／No.148是立）まで御連絡下さい。

メールアドレス：小川 mo.ogawa@mx10.ttcn.ne.jp 是立 adaci@kk.ijj4u.or.jp



写真：フォンタナリゾート内イスタンブル通り

フィリピン、クラークでアメリカンスタイルのセカンドライフを実現しませんか！

- ◆ アメリカ空軍基地として整備されたクラーク特別経済区は、今では国有地として確かなインフラと広々とした豊かな環境、それに安全面でも申し分のない完成された生活の場となっています。
- ◆ 免税特区のクラークはあらゆる商品が安く揃う買い物天国です。
- ◆ クラーク内の広大な敷地を有する“フォンタナリゾート”は空軍将校用住宅416棟をビルとして完成させて、ゴルフ場やウォーターパーク、テニスコート等諸施設も整え生活をエンジョイさせてくれます。
- ◆ 公害のない緑に囲まれたリゾート内ビルでは、既に6所帯の日本人ロングステイヤーと現地進出企業駐在員6所帯が生活を始めています。
- ◆ “フォンタナリゾートビル（2LDK, 116m²）”の15年間のロングリースの契約金は P2,500,000.- (約¥6,000,000) という安さです。
＊ビルは契約者の名義となります。また、フィリピン政府機関より期間内所有者である保証を受けます。
＊もちろん、転売（リース権）も可能です。＊
- ◆ フォンタナリゾートでは、体験滞在のほか、空港からの車の手配、クラークのご案内も承っています。
1ビル当り………1泊 ¥7,000.-、1週間 ¥40,000.-
＊フルファニチャー付きのフォンタナビルは、2組のご夫婦4人でも十分くつろげる広さです。＊

◆フォンタナリゾートの詳しい資料をお求めの方は、下記までお気軽にお問い合わせ下さい。◆

フォンタナリゾートアンドカントリークラブ
日本総代理 田野瀬 博太郎
〒559-0015 大阪市住之江区南加賀屋 2-5-13
TEL: 06-6683-4912 FAX: 06-6682-3433

フィリピン住所
VILLA NO.3916, FONTANA LEISURE PARKS,
CLARK SPECIAL ECONOMIC ZONE, CLARKFIELD
PAMPANGA, PHILIPINES
TEL&FAX: 63-45-599-5899

★この広告は南国暮らしの会が推薦するものではありません★
お取り引きはあくまで会員各位の自己判断と自己責任でお願いします

